

# 旅行報告書

会派名 自由民主党

会派代表者 松本 和幸

平成27年7月21日

| 旅行者氏名 | 旅行者氏名 |
|-------|-------|
| 松本 和幸 |       |
|       |       |
|       |       |
|       |       |

下記の用務のため旅行しましたので報告いたします。

## 記

1 期間 自:平成27年7月14日(火曜日)  
至:平成27年7月16日(木曜日) 2泊3日

## 2 旅行先及び用務

| 旅行先      | 目的              |
|----------|-----------------|
| 大分県豊後高田市 | 定住促進事業について      |
| 宮崎県日向市   | 新庁舎建設構想について     |
| 鹿児島県霧島市  | 木質バイオマス発電事業について |
|          |                 |

# 自民党会派視察

2015年

7月14日 豊後高田市 定住促進事業

7月15日 日向市 新庁舎建設構想

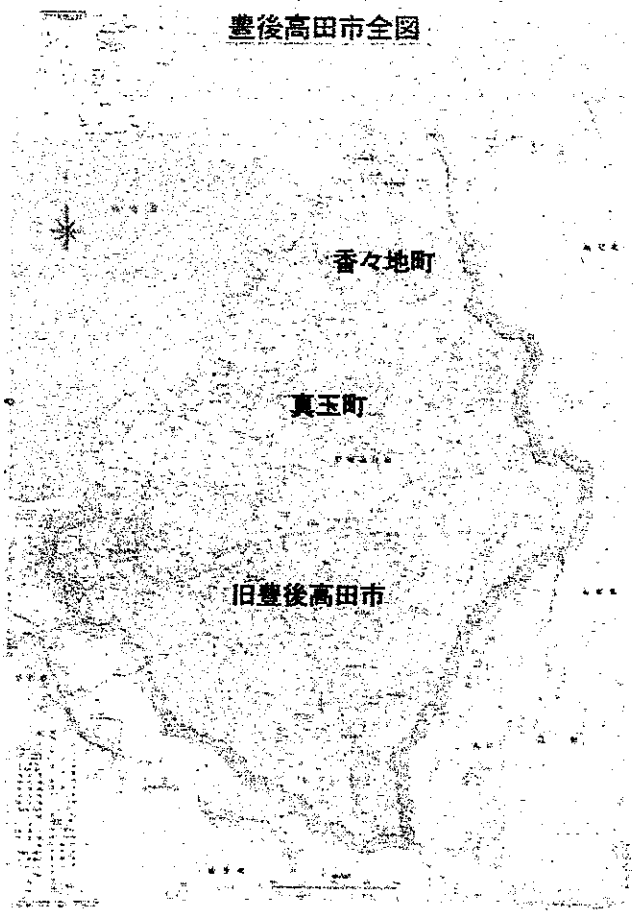
7月16日 霧島市 木質バイオマス

## 参加者

松本和幸・牧下恭之・岩坂雅之

福田 斉・中村幸治・田口憲雄

豊後高田市全図



# 豊後高田市概要

夢をかたちに、  
未来に光り続けるまち

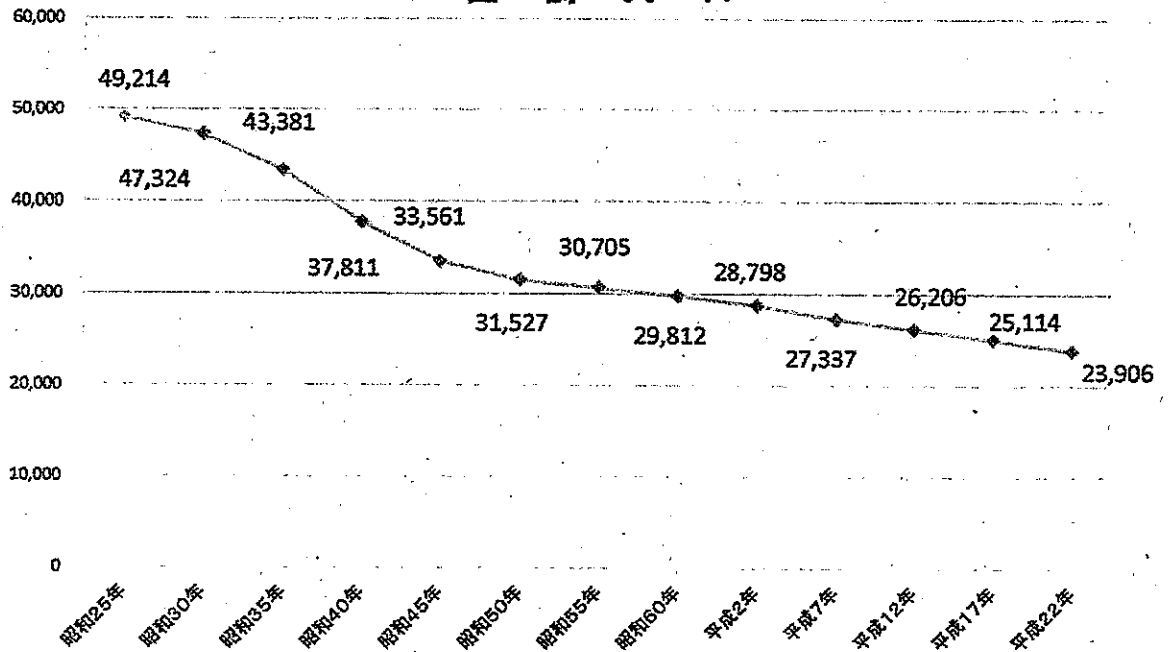
平成17年3月31日合併  
旧豊後高田市  
真玉町  
香々地町

平成27年3月31日現在  
人口 23,444人  
高齢化率 36%

※市内全域が過疎地域に指定されている。

## 豊後高田市のすがた

### 国 調 人 口



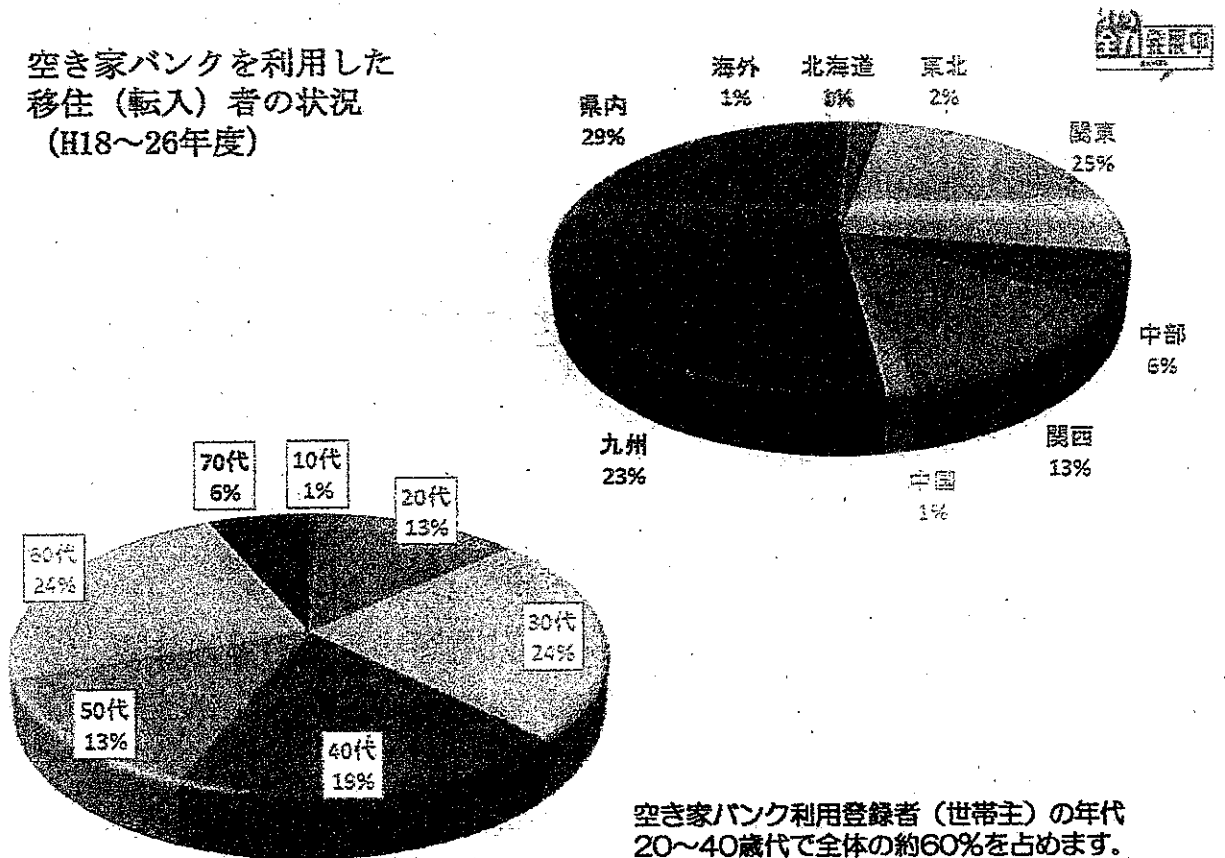
### 50年間で約20,000人の減少。

昭和35～平成22年までは19,475人（年平均390人）減少しているが、平成12～22年は2,300人（年平均230人）の減少となっており、若干の歯止めがかかっている。

| 年度 | 新規<br>空き家<br>登録<br>軒数 | 現在<br>掲載<br>中の<br>軒数 | 利用希望 |      | 契約数 |     |     |     |      |    |    |    |
|----|-----------------------|----------------------|------|------|-----|-----|-----|-----|------|----|----|----|
|    |                       |                      |      |      | 全体  |     | 空き家 |     | 公営住宅 |    | 民間 |    |
|    |                       |                      | 世帯   | 人数   | 世帯  | 人数  | 世帯  | 人数  | 世帯   | 人数 | 世帯 | 人数 |
| 18 | 19                    |                      | 19   | 49   | 1   | 4   | 1   | 4   |      |    |    |    |
| 19 | 14                    |                      | 36   | 78   | 11  | 21  | 11  | 21  |      |    |    |    |
| 20 | 4                     |                      | 23   | 46   | 5   | 10  | 5   | 10  |      |    |    |    |
| 21 | 8                     |                      | 22   | 55   | 1   | 2   | 1   | 2   |      |    |    |    |
| 22 | 2                     |                      | 38   | 74   | 3   | 6   | 2   | 5   | 0    | 0  | 1  | 1  |
| 23 | 27                    |                      | 78   | 174  | 20  | 49  | 9   | 26  | 3    | 9  | 8  | 14 |
| 24 | 28                    |                      | 130  | 282  | 17  | 44  | 12  | 30  | 2    | 3  | 3  | 11 |
| 25 | 38                    |                      | 158  | 369  | 42  | 99  | 29  | 72  | 4    | 6  | 9  | 21 |
| 26 | 38                    | 49                   | 181  | 417  | 42  | 106 | 25  | 62  | 3    | 11 | 14 | 33 |
| 計  | 178                   |                      | 685  | 1546 | 142 | 341 | 95  | 232 | 12   | 29 | 35 | 80 |

平成27. 3. 31現在

空き家バンクを利用した  
移住（転入）者の状況  
(H18~26年度)



# 婚活・結婚応援体制

## 豊後高田市婚活推進協議会 (会長・市長 顧問・県議、議長)



- ♥独身者 **マリッジサークル 75名**
- ♥市民 **縁結びお世話人協議会 281名**
- ♥企業 **婚活応援隊 106団体**

平成27年3月末現在 28

### 【独身者】出会い応援イベント



※月に1度のツキイチコンパ（年齢別コンパ）＋ スポコン・夏旅などのイベントで出会いの場を提供！

【新婚家賃補助36千円】  
市の補助により改修したアパートに入居した場合、1年後に36000円の家賃補助をします。

【新婚生活応援金10万円】  
新婚さんの生活応援のため、50歳未満の新婚カップルで2年以上豊後高田市に住むことを確約した方に10万円の応援金を差し上げています。

**【市民】縁結びお世話人**

市で縁結びお世話人養成講座を開催

市全体で独身男女が結婚を決断しやすい機運醸成を図り、たくさんの幸せなカップルが誕生し、結婚、定住へとつながる縁結び活動を推進するため、独身男女の縁を取り持つ『縁結びお世話人』を養成しています。  
⇒養成講座受講者等を市が認定しています。

**縁結びお世話人認定証**

あなたと婚活促進事業にかかわる縁結びお世話人として認定します  
今後も引き続き人口3万人を目指した取り組みにご協力いただき地域において独身者の結婚を応援していただくことを期待しています

平成28年 月 日  
市長 内田 直也



【毎月第4金曜日開催】  
縁結びお世話人さん、独身者の親御さんをはじめとして、市民の方誰でもご参加いただけます。婚活や縁結びについて交流いただけるサロンです。

✓ **【縁結び奨励金10万円】**  
市に認定された縁結びお世話人さんがお引き合わせしたカップルが、結婚し、市に定住した場合、縁結びお世話人さんへ10万円の奨励金を差し上げています。

**【みんなde婚活応援事業】**  
**お見合い支援5千円**  
市に認定された縁結びお世話人さんが、市に居住する意思のある独身者をお見合いさせた場合、5000円の報奨金を差し上げています。

**【企業】婚活応援隊**

**みんなde婚活応援事業**

**飲食業の皆さんへ ~婚活応援店舗イベント開催奨励金~**

飲食業を営む店舗が「独身男女の交流会」を開催した場合、参加者一人あたり1,500円の奨励金を差し上げます！

**飲食店が主催**

- (申請できる方) 飲食店の代表者(ご店舗登録済み又は申請と同時に登録可)
- (対象) その店舗で行う計画時の募集人員が10人以上の独身男女の交流会  
※同一団体に所属する独身男女のみを対象とするものは対象外  
※本奨励金を元にして転売する目的のものは対象外  
※参加者数は1,500円未満のものには対象外
- (奨励金の額) 参加者一人あたり1,500円  
※参加者数を取組むため、上記する店舗へ差し上げます

**婚活応援隊に所属している団体が開催する独身男女が出会うための交流会、結婚を推進するための講習会などへ上限5万円の奨励金を差し上げます。**

- (申請できる団体) 婚活応援隊に登録している団体(申請と同時に登録可)
- (対象) 計画時の募集人員が10人以上の上記の交流会・講習会など  
※ただし、企業が主催するものは対象とするものは対象外  
※また、参加者の半数以上が市内に居住または登録していることが必要です。
- (奨励金の額) 5万円(上限)  
※ただし、飲食を伴う宴会の場合は、単に飲食費に要した経費の1/2までです



ようこそ日向市へ

## 水俣市議会行政視察

日時：平成27年7月15日(水)

場所：議員会議室

### 次 第

1. 開会 10:30

日向市議会 あいさつ  
水俣市議会 様 あいさつ

2. 視察 10:35

「新庁舎建設構想について」

説明・質疑（担当：新庁舎建設課）

3. 閉会 12:00

# 行政視察資料

H27. 7. 15(水) 日向市新庁舎建設課作成

## 1. 市庁舎に関する過去の経緯

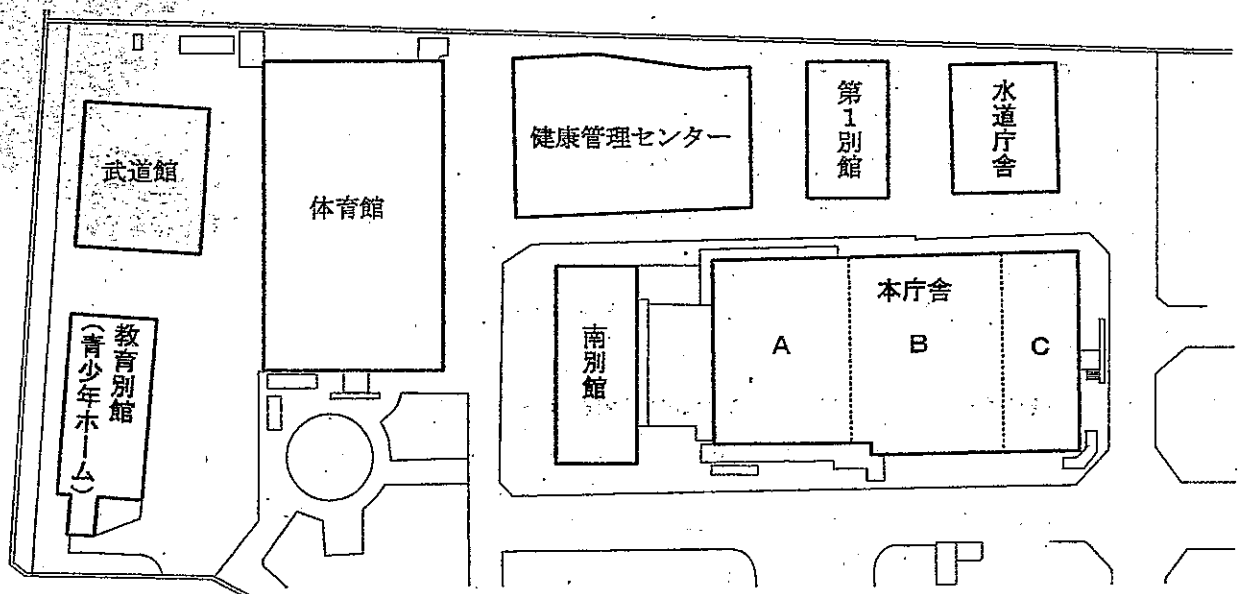
現在の庁舎は、昭和 39 年の建設から 50 年が経過し、老朽化が課題となっている。

### (1) 庁舎耐震診断を実施 (H10 年)

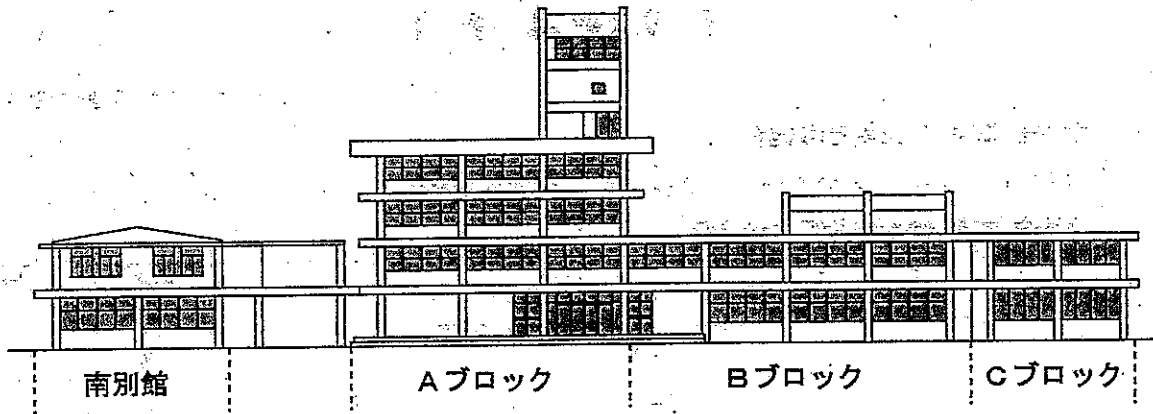
| 大区分   | 小区分   | 建設年       | 構造※1      | 耐震診断  | 耐震ランク※2 |   |
|-------|-------|-----------|-----------|-------|---------|---|
| 本庁舎   | Aブロック | 1階        | S39(1964) | RC造4F | 済       | C |
|       |       | 2階        |           |       | 済       | C |
|       |       | 3階        |           |       | 済       | C |
|       |       | 4階        |           |       | 済       | B |
|       | Bブロック | 1階        | S39(1964) | RC造4F | 済       | C |
|       |       | 2階        |           |       | 済       | A |
| Cブロック | 1階    | S55(1980) | RC造2F     | 済     | B       |   |
|       | 2階    |           |           | 済     | A       |   |
| 南別館   | 1階    | S39(1964) | S造2F      | 済     | A       |   |
|       | 2階    | H 3(1991) |           | 済     | A       |   |
| 水道庁舎  | 1階    | S39(1964) | RC造2F     | 済     | A       |   |
|       | 2階    |           |           | 済     | B       |   |
| 第1別館  | 1階    | S39(1964) | S造2F      | 未     | —       |   |
|       | 2階    | S48(1973) |           | 未     | —       |   |
| 教育別館  | 1・2階  | S54(1979) | S造2F      | 済     | A       |   |

※1 構造 RC造：鉄筋コンクリート構造  
S造：鉄骨構造

※2 耐震ランク A：安全  
B：耐震性能は比較的高いが補強をすすめる  
C：補強が必要である







(2) 市庁舎耐震化検討委員会（庁内）による検討（H19年度）

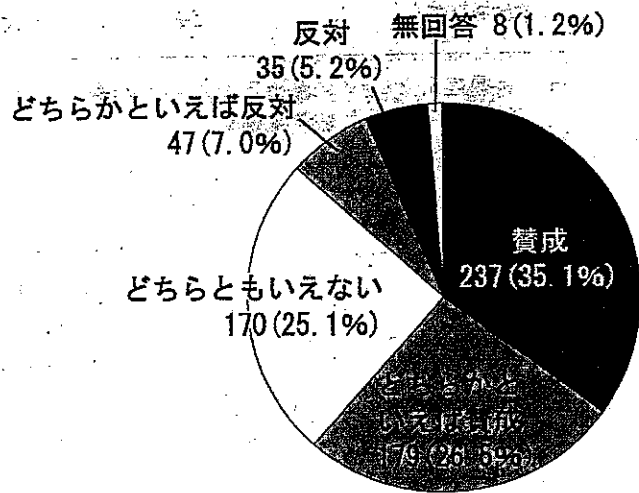
本庁舎を耐震化（制振工法）し、水道庁舎と第1別館を取り壊して新別館を建設する方針案が示されたが、総事業費が20億円程度必要になることなどから実施されなかった。

(3) 総合計画後期基本計画（H24.3策定）の重点プロジェクトに、「防災拠点施設の計画的な整備」を位置付ける。

〔背景〕3.11の東日本大震災を受け、計画策定に当たり設置した庁外の審議会や市民ワークショップにおいて、防災の拠点施設である市庁舎の整備を求める意見が出された。

(4) 市役所庁舎整備に関するアンケート調査の実施（H24.8）

庁舎の建て替えについて聞いたところ、賛成またはどちらかといえば賛成と答えた方が61.6%と、反対またはどちらかといえば反対の11.2%を大きく上回る結果となった。



(5) 庁舎の在り方検討市民委員会  
(H24.12~H25.3)

市民代表（公募委員）、有識者、市内各種団体等の代表者からなる委員会を設置。市庁舎の整備の方向性としては、建て替えにより抜本的な安全対策を講じるよう提言がなされる。

(6) 政策会議により、新庁舎の建設が政策決定される（H25.3）

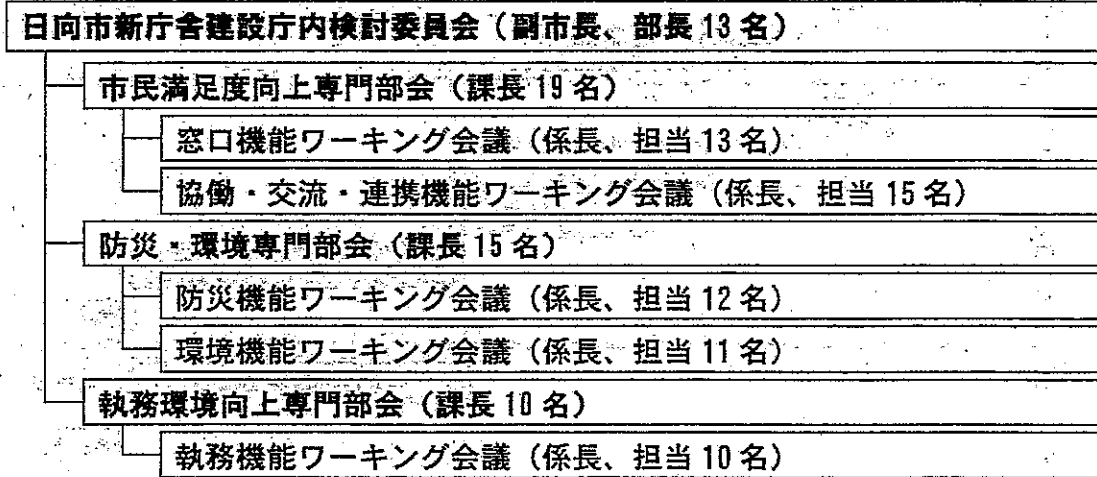
企画情報課内に、「新庁舎建設準備室」が設置される（H25.4）

## 2. 新庁舎建設事業の推進状況

### (1) 事業推進体制の構築

[庁外体制] 日向市新庁舎建設市民懇話会 (H25. 6～H26. 11)

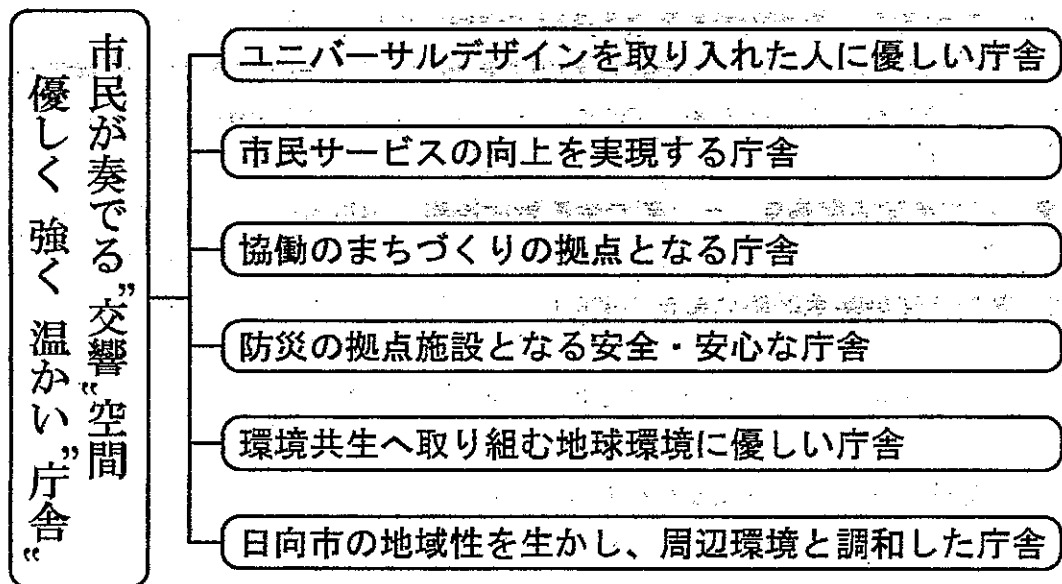
[庁内体制]



(2) 市民説明会の開催 (H25. 7) 市内 7 か所

(3) 「日向市新庁舎建設基本構想」の策定 (H25. 8)

#### ◎新庁舎建設の基本方針



#### ◎総事業費：4.5 億円

新庁舎の建設工事費のほか、これに付随する基本計画の策定に係る経費、基本・実施設計に係る経費、工事監理費に加え、現庁舎の解体及び外構工事に係る経費。

◎事業スケジュール

|          | 平成 25 年度 | 平成 26 年度     | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度             |
|----------|----------|--------------|----------|----------|----------|----------------------|
| 計画・設計等   | 基本構想     | 基本計画<br>基本設計 | 実施設計     |          |          |                      |
| オフィス環境整備 | 実態調査     | レイアウト計画      | サウン計画    | 備品調査     | 移転計画     | 移転<br>調査             |
| 建設工事等    |          |              |          | 新庁舎建設工事  |          | 平成30年1月供用開始<br>解体・築地 |

(4) 事業推進に係る業務委託契約の締結

① オフィス環境整備支援業務委託契約の締結 (H25. 12~H30. 3)

オカムラ製作所

② 基本設計・実施設計業務委託契約の締結 (H26. 1~H27. 11)

代表構成員である「内藤廣建築設計事務所」と、市内3業者（安藤設計、アーク  
計画設計事務所、甲斐修二設計室）からなる設計共同企業体（JV）

● 「新庁舎建設準備室」⇒「新庁舎建設推進課」(H26. 4)

(6) 新庁舎建設基本計画の策定 (H26. 6)

(7) 市民・職員ワークショップの開催 (H26. 7~11) 各4回

(8) 各種団体等との意見交換会の開催 (H26. 11)

- ① 子育て世代との意見交換会
- ② 高齢者団体との意見交換会
- ③ 出前講座：日向工業高校建築科1年
- ④ 障がい者団体との意見交換会

(9) 「日向市新庁舎建設基本設計」の完了 (H26. 11)

(10) 「日向市新庁舎建設基本設計お披露目市民説明会」の開催 (H26. 12)

## 庁内推進体制の変更

### 日向市新庁舎建設庁内推進委員会（副市長、部長 13 名）

#### 総合調整プロジェクトチーム

新庁舎建設に関連の深い部署の係長で構成。新庁舎に導入する機能全般について調査研究を行い、方針案を策定する。

総務係長、防災推進係長、施設経営係長、行革推進係長、政策推進係長、都市企画係長、水道課経理係長、議会事務局議事係長

#### 窓口機能プロジェクトチーム

窓口担当部署の係長等で構成。新庁舎に導入する窓口形態等についての調査研究を行い、方針案を策定する。「窓口サービス向上委員会」の作業部会を兼ねる。

行革推進係長、管理係長、国民健康保険係長、市民窓口係長、支所職員、障がい者支援係長、子育て支援係長、高齢者福祉係長、健康づくり係長、建築住宅課管理係長、水道課営業係長、学校教育課学事係長

- 「新庁舎建設推進室」⇒「新庁舎建設課」（H27. 4）

### 3. その他

#### ◎ 市議会との調整

当初は、代表者会議、全員協議会により説明等を行っていたが、平成 26 年度途中からは、「公共施設マネジメント調査特別委員会」を窓口として協議を行っている。

# 水俣市議会 行政視察資料

平成 27 年 7 月 16 日 (木)  
農林水産部 農林水産政策課

◎森林整備と木質バイオマス発電事業

1. 背景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1～2
2. 霧島市における木質バイオマス発電に関する基本方針・・・ P 2
3. 木質バイオマス発電施設の概要・・・・・・・・ P 2～3
4. 活用した国・県の補助制度・・・・・・・・ P 3
5. 市の単独補助事業・・・・・・・・ P 3～4
6. 木質バイオマス発電事業による波及効果・・・・・・・・ P 4

◎資料

- ・木質バイオマスに係る経過・・・・・・・・ P 5
- ・森林整備加速化・林業再生事業（基金）の経緯について・・・ P 6
- ・森林整備に係る新たな支援策の創設・・・・・・・・ P 7

◎参照

- ・平成27年度の調達価格と調達期間・・・・・・・・ P 8

## 森林整備と木質バイオマス発電事業

### 1. 背景

#### (1) 林業の現状課題

木材価格の低迷・担い手不足などから切り捨て間伐や林地残材の放置、さらに、未整備などにより、森林整備が進まず、森林の持つ公益的・多面的機能の低下や鳥獣被害等の拡大など周辺環境が低下している。

#### (2) 現状課題解決に向けたこれまでの主な取組（経過）【詳細：5ページ】

- ・平成21年度にバイオマスタウン構想を策定し、未利用系バイオマスの1つである林地残材及び製材残材の燃料化を推進することとした。
- ・平成22年度は公共施設（温水プール等）への木質ボイラー導入に係る事業可能性調査を実施した。
- ・平成24年7月、国は再生可能エネルギーの固定価格買取制度を開始した。
- ・平成24年8月17日に、新たなエネルギービジョン、再生可能エネルギーの導入促進、再生可能エネルギーを活用した地域活性化に関する調査・検討を行うために「霧島市再生可能エネルギー庁内検討委員会」を設置した。
- ・平成24年8月以降、農林水産省の職員を招き、再生可能エネルギーの研修会、セミナーへの参加や先進地の視察等を行った。
- ・平成24年11月5日に、木質系バイオマス発電に関する可能性を調査検討するために林業等の関係者、県職員、市職員で構成する「霧島市木質系バイオマスエネルギー利活用検討委員会」を設置し、3回開催した。
- ・平成25年3月5日の第5回再生可能エネルギー庁内検討委員会で「県央地域という地理的特性を活かし、国・県と連携した補助事業の活用や市独自の支援策の検討を行いながら、木質バイオマス発電事業を促進する。」という市の方針を決定した。
- ・平成25年4月10日に木質バイオマス発電に関する情報の共有を図るために庁内に「バイオマス発電調整会議」を設置した。
- ・平成25年3月から5月にかけて、数社の事業体からバイオマス発電事業への本市への参入の問合せがあり、建設予定地等の可能性調査を行った。
- ・平成25年5月23日に霧島木質発電(株)が設立された。
- ・平成25年5月下旬から6月中旬にかけて関係森林組合、民間の素材生産者等と材料調達に関する3者協定書の締結を行った。(7月9日付で締結)
- ・平成25年6月14日に霧島木質発電(株)が材料調達や資金面(市中銀行からの借入れ)で事業実施の目途が立ち、県へ木質バイオマス発電関係施設整備に対する資金融通、補助事業の要望を行った。

- ・県から平成25年7月10日に要望に対する予算を検討した結果、9月の県議会へ上程するので、市も9月補正予算への上程をするように連絡があった。
- ・平成25年8月1日に行われた9月補正予算ヒアリングに、県の資金融通、補助に関する予算と燃料調達支援に関する債務負担行為を提出した。
- ・平成25年8月末から関係地域（永水、東襲山地区）、関係者（水路組合等）への説明会等を開催した。
- ・平成25年10月16日に霧島木質燃料㈱が設立された。
- ・平成25年12月に霧島木質発電・燃料㈱と、協定書を締結した24の素材生産者を会員とし、安定した燃料の調達を図ることを目的とした「霧島木質バイオマス燃料協議会」が設立された。霧島市はオブザーバーとして協議会に参加した。
- ・平成26年2月に木質バイオマスエネルギー導入促進事業（補助金額：14億円）、森林整備・林業木材産業活性化推進事業（補助金額：2億円）の事業計画承認、補助金交付決定を受けた。
- ・平成26年5月12日、霧島木質燃料㈱と霧島市が立地協定を結びました。
- ・平成26年7月14日に木質バイオマス発電所の起工式が行われた。
- ・平成27年3月27日に木質バイオマス発電所の火入れ式が行われた。
- ・平成27年3月に木質バイオマスエネルギー導入促進事業（補助金額：14億円）、森林整備・林業木材産業活性化推進事業（補助金額：2億円）の実績を報告し、補助金交付確定を受けた。
- ・平成27年5月23日に木質バイオマス発電所の竣工式が行われた。

## 2. 霧島市における木質バイオマス発電に関する基本方針

- ✓ 1) 林地残材をチップ等の燃料化により活用し、森林整備を進めることにより、森林の持つ公益的・多面的機能の向上、鳥獣被害防止対策等、周辺環境整備を図る。
- ✓ 2) 林業生産の仕組みを用材生産だけでなく、林地残材としていた部分を木質チップ燃料として活用することによって、山林所有者・林業者の所得向上を図る。
- ✓ 3) 発電所とチップ加工等の関連産業の創出により、新たな雇用の創生など地域活性化を図るとともに循環型社会の構築を行う。

## 3. 木質バイオマス発電施設の概要

(造友重機.)

- (1) 総事業費：約36億円（うち補助金：16億円）
- (2) 敷地面積：約7.9ha（平面部面積：約2.6ha）
- (3) 定格発電出力：5,750kw



(4) 年間計画発電量

$5,750\text{kw}-900\text{kw}$  (自家消費)  $=4,850\text{kw} \times 24\text{h} \times 330\text{日} = 38,412,000\text{kwh}$

(5) 貯木場：発電所敷地内、その他5箇所の合計約37,000㎡

4. 活用した国・県の補助制度

木質バイオマスに関する再生可能エネルギーの補助金は当初、定額補助であったが、民主党政権時において事業仕分けにより廃止となった。

しかし自民党へ政権交代後に、再生可能エネルギーの一つとして林地残材等を利活用する木質バイオマスを推進するため、無利子の資金融通と補助金を組み合わせた形で制度化された。

森林整備加速化・林業再生事業は、国の緊急経済対策として平成24年度の第1号補正にて予算化（鹿児島県の基金21億4千万円）されており、平成23年度の第3号補正予算の震災復興対策（鹿児島県の基金48億円）が拡充されたものである。

なお、震災復興対策については、被災地に対するもの以外については、執行停止となり、本市では、平成26年度に予定していた規格相当林道整備や木質バイオマスボイラーの導入が見送りとなった。

【イメージ図：6ページ】

5. 市の支援（債務負担行為：平成26～30年度 4億800万円）

(1) 目的

木質バイオマス発電所の燃料用に搬出する間伐等由来の木材及び一般材に対して補助を行い、安定した燃料供給体制の確立と、供給側の負担軽減、所得向上を図る。

(2) 制度概要【イメージ図：7ページ】

補助金額については、木質バイオマスエネルギー利活用検討委員会での検討結果や森林組合等へ聞き取り調査結果等を基本に、間伐等由来の木材で最大2,000円とした。

補助対象量は年間に必要な量を目安に60,000tとし、間伐等由来を7割、一般材を3割と想定して、間伐等由来： $2,000\text{円} \times 42,000\text{トン} = 8400\text{万円}$ 、一般材： $1,000\text{円} \times 18,000\text{トン} = 1800\text{万円}$ 、年間合計を1億200万円とした。

また支援期間については、間伐材等の効率的な集荷システムの構築に向けて森林組合等の意識醸成、機械導入をはじめとした安定した燃料供給体制の整備など、林業生産仕組みの変更に要する期間を5年程度と見込んで設定したが、4年目、5年目は補助金額を半額とする。

(3) 平成 26 年度実績

平成 26 年度は事業初年度であり霧島木質燃料(株)の認知度も低かったため、  
予算 1 億 400 万円に対し補助金額は約 8,400 万円、補助対象となった木材は約  
4 万 3 千トンでした。

6. 木質バイオマス発電事業による波及効果

(1) 雇用の創出と地域活性化

霧島木質発電(株)、霧島木質燃料(株)：約 30 人

燃料集荷・運送：60 人程度（見込み）

その他、市へは固定資産税、法人市民税等が見込まれる。

(2) 派生的効果

① 治山治水、水源涵養、災害対策、地球温暖化の防止など森林が持つ公益的・  
多面的機能の向上

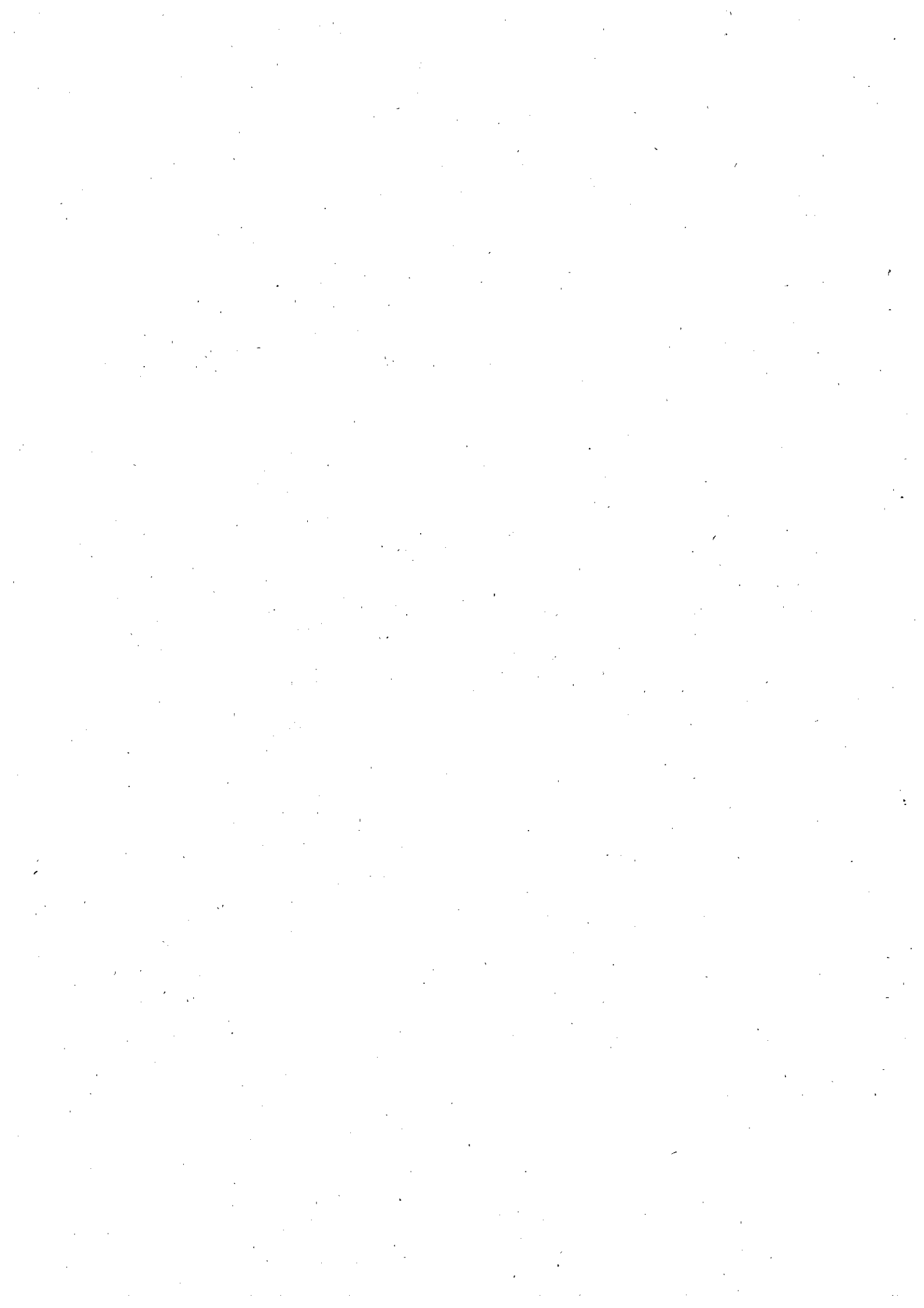
② 生態系保全、自然環境保全、広葉樹などの新たな樹種の育成等周辺環境整  
備などの森林再生

(3) 循環型社会の形成、農山村の活性化

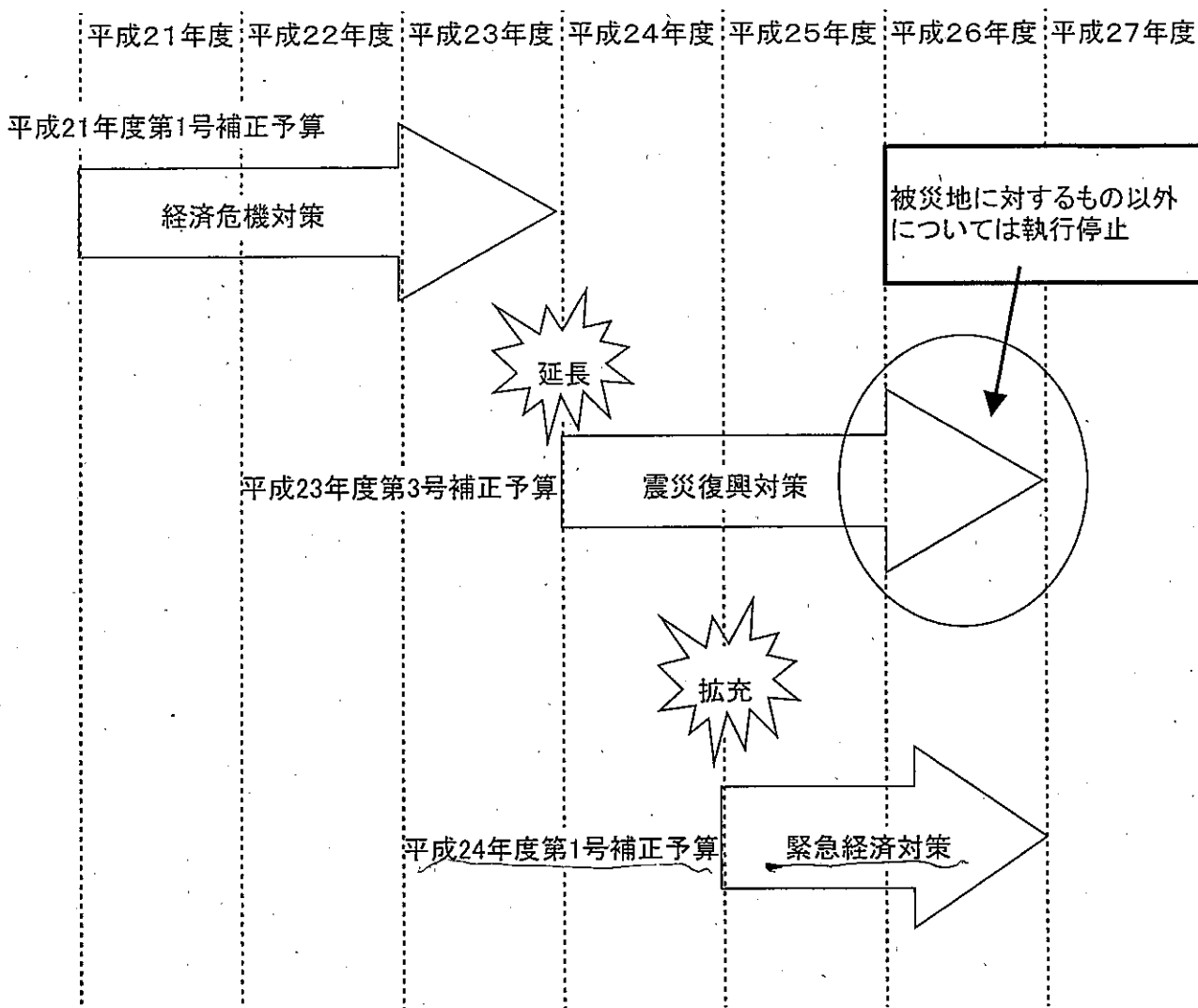
資源（林地残材等）のリサイクルによる循環型社会の形成と、山からの「エ  
ネルギーや素材の供給」という新たな役割が期待でき、農山村の活性化にも  
つながる。

木質バイオマスに係る経過

| 平成27年度   | 平成26年度   | 平成25年度  | 平成22年度   | 平成21年度   |        |
|--|--|---|--|--|--------|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●平成二十七年三月 木質バイオマスエネルギー導入促進事業、森林整備・林業木材産業活性化推進事業 実績報告、補助金交付確定</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●平成二十六年五月 霧島木質燃料㈱と立地協定を締結</li> <li>●平成二十六年二月 木質バイオマスエネルギー導入促進事業、森林整備・林業木材産業活性化推進事業、計画承認、補助金交付決定</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●木質ボイラー導入に向けた情報収集等の実施</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●バイオスタウン構想の策定</li> <li>「林地残材及び製材残材の燃料化及び飼料化」</li> </ul> | 市      |
|  |  |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●クリーンエネルギー導入調査・実証事業の実施</li> <li>公共施設（温水プール等）への林地残材のチップを燃料とする木質ボイラー導入に係る事業可能性を検討。</li> </ul> |  | 国・県    |
|  |  |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●平成二十三年三月 東日本大震災、福島第一原発事故の発生</li> </ul>   |  | 事業実施主体 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●平成二十七年五月 木質バイオマス発電所 竣工式</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●平成二十七年三月 木質バイオマス発電所火入れ式</li> </ul>                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●平成二十六年七月 木質バイオマス発電所起工式</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●平成二十六年二月 林地開発許可、都市計画開発許可</li> </ul>  |  |        |



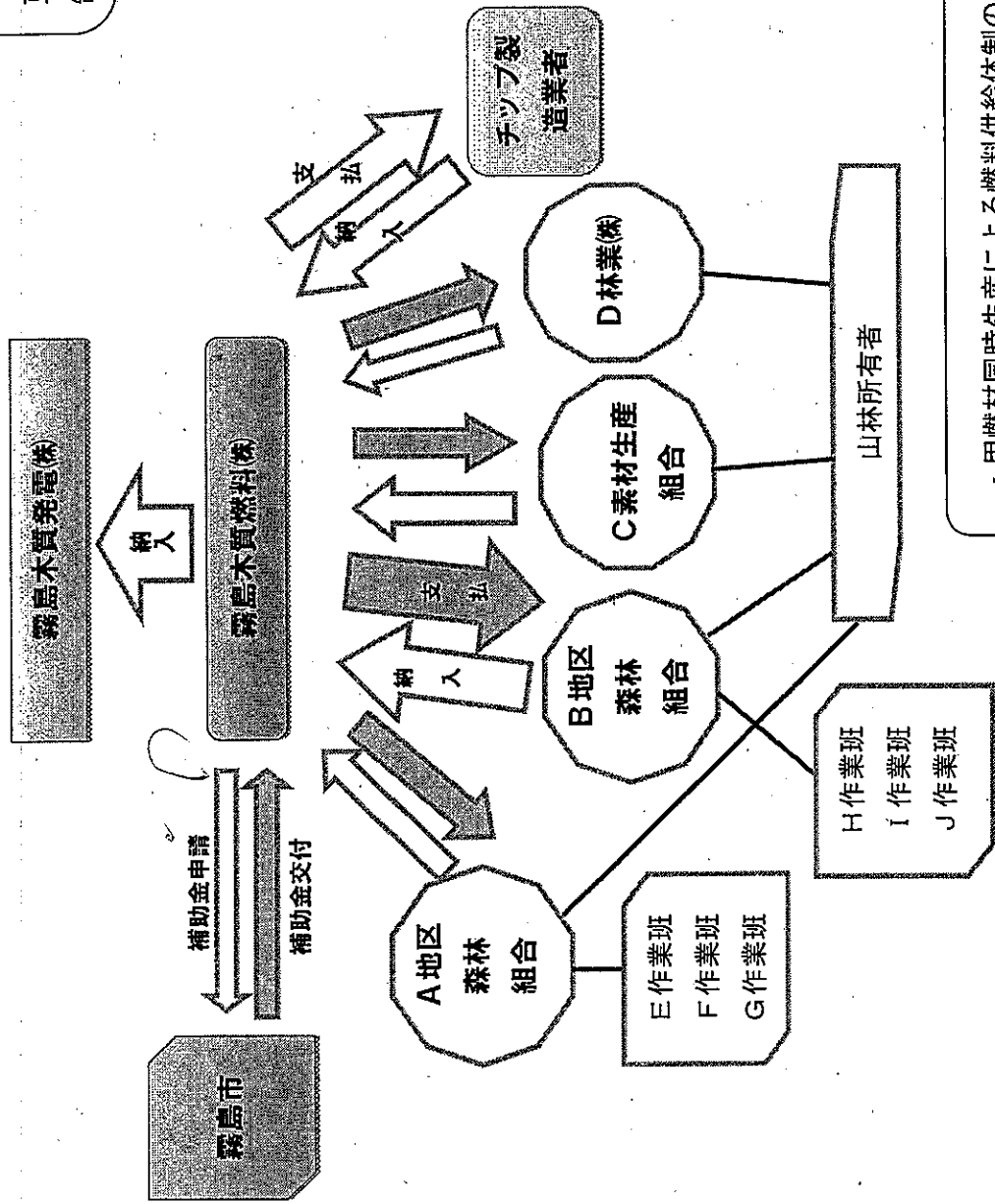
# 森林整備加速化・林業再生事業(基金)の経緯について



# 《森林整備に係る新たな支援策の創設》 木質バイオマス安定調達支援事業

木質バイオマス発電所の燃料用に搬出する間伐材及び一般材に対して補助を行い、林業生産仕組みを林地残材等を木質チップ燃料として活用する用燃材同時生産に変更し、供給側（山元）の所得向上と安定した燃料供給体制の確立を図る。

木質バイオマス安定調達支援事業【イメージ】



材の購入価格への上乗せ額(円/t)

| 種別  | H26~H28 | H29~H30 |
|-----|---------|---------|
| 間伐材 | 2,000   | 1,000   |
| 一般材 | 1,000   | 500     |

※ただし対象量は60,000tまでとする。

| 種別                  | 該当する主な木質バイオマス   |
|---------------------|---|
| 間伐材(間伐材等由来の木質バイオマス) | ①間伐材<br>②①以外の方法により伐採された木材。森林経営計画対象森林、保安林・保安施設地区、国有林野施業実施計画対象森林から伐採等される木材。                             |
| 一般材(一般木質バイオマス)      | ①製材等残材<br>②その他由来の証明が可能な木材<br>森林からの伐採木材(例:間伐材等由来の木質バイオマスの②以外からの木材、輸入材)、伐採屑等を必要としない木材等(例:果樹等の剪定枝、ダム流木等) |

※いずれもガイドラインに準拠した公的な証明等・分別管理が必要。

- ・用燃材同時生産による燃料供給体制の確立
- ・供給側（山元）の経費の負担軽減と所得の向上

↑ 森林整備の促進

# 平成27年度の調達価格と調達期間

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

調達価格や調達期間は、各電源ごとに、事業が効率的に行われた場合、通常必要となるコストを基礎に適正な利潤などを勘案して定められます。具体的には、中立的な調達価格等算定委員会の意見を尊重し、経済産業大臣が決定します。

| 電源  | 調達区分               | 調達価格1kWh当たり    |                              | 調達期間 |
|-----|--------------------|----------------|------------------------------|------|
|     |                    | 出力制御対応機器設置義務なし | 出力制御対応機器設置義務あり <sup>※1</sup> |      |
| 太陽光 | 10kW未満(余剰買取)       | 33円            | 35円                          | 10年間 |
|     | 10kW未満(ダブル発電・余剰買取) | 27円            | 29円                          |      |

※1 北海道電力、東北電力、北陸電力、中国電力、四国電力、九州電力、沖縄電力の需給制御に係る区域において、平成27年4月1日以降に接続契約申込が受理された発電設備は、出力制御対応機器の設置が義務付けられます。

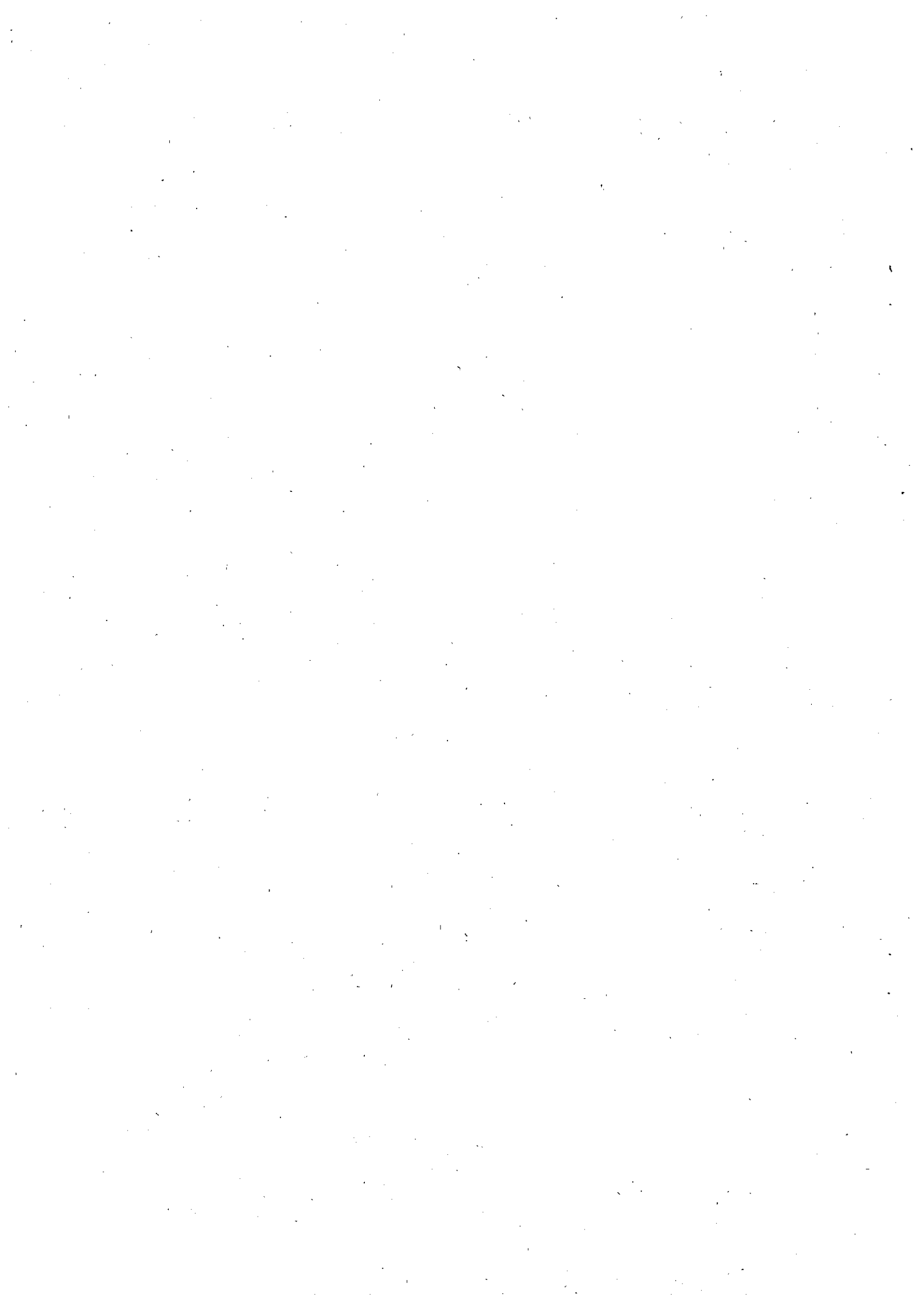
| 電源  | 調達区分   | 調達価格1kWh当たり           |           | 調達期間 |
|-----|--------|-----------------------|-----------|------|
|     |        | 平成27年4/1～6/30(利潤配慮期間) | 平成27年7/1～ |      |
| 太陽光 | 10kW以上 | 29円+税                 | 27円+税     | 20年間 |

| 電源                  | 調達区分                | 調達価格1kWh当たり | 調達期間 |
|---------------------|---------------------|-------------|------|
| 風力                  | 20kW以上              | 22円+税       | 20年間 |
|                     | 20kW未満              | 55円+税       |      |
| 洋上風力 <sup>※2</sup>  | 20kW以上              | 36円+税       | 15年間 |
| 地熱                  | 15,000kW以上          | 26円+税       |      |
|                     | 15,000kW未満          | 40円+税       |      |
| 水力                  | 1,000kW以上30,000kW未満 | 24円+税       | 20年間 |
|                     | 200kW以上1,000kW未満    | 29円+税       |      |
|                     | 200kW未満             | 34円+税       |      |
| 既設置水路<br>活用<br>中小水力 | 1,000kW以上30,000kW未満 | 14円+税       |      |
|                     | 200kW以上1,000kW未満    | 21円+税       |      |
|                     | 200kW未満             | 25円+税       |      |

※2 建設及び運転保守のいずれの場合にも船舶によるアクセスを必要とするもの。 ※3 既に設置している導水路を活用して、電気設備と水圧配管を更新するもの。

| 電源            | バイオマスの種類                       | バイオマスの例                                | 調達価格1kWh当たり | 調達期間 |       |
|---------------|--------------------------------|--|-------------|------|-------|
| バイオマス         | メタン発酵ガス(バイオマス由来)               | 下水汚泥・家畜糞尿・食品残さ由来のメタンガス                 | 39円+税       | 20年間 |       |
|               | 間伐材等由来の<br>木質バイオマス             | 間伐材、主伐材 <sup>※4</sup>                  | 2,000kW未満   |      | 40円+税 |
|               |                                |  | 2,000kW以上   |      | 32円+税 |
|               | 一般木質バイオマス・農産物残さ                | 製材端材、輸入材 <sup>※4</sup> 、パーム椰子殻、もみ殻、稲わら | 24円+税       |      |       |
|               | 建設資材廃棄物                        | 建設資材廃棄物(リサイクル木材)、その他木材                 | 13円+税       |      |       |
| 一般廃棄物・その他の廃棄物 | 剪定枝・木くず、紙、食品残さ、廃食用油、汚泥、家畜糞尿、黒液 | 17円+税                                  |             |      |       |

※4 「発電利用に供する木質バイオマスの証明のためのガイドライン」に基づく証明のないものについては、建設資材廃棄物として取り扱う。





# 旅行報告書

会派名 自由民主党

会派代表者 松本 和幸

平成27年11月20日

| 旅行者氏名 | 旅行者氏名 |
|-------|-------|
| 松本 和幸 |       |
|       |       |
|       |       |
|       |       |

下記の用務のため旅行しましたので報告いたします。

## 記

- 1 期間 自:平成27年11月16日(月曜日)  
至:平成27年11月19日(木曜日) 3泊4日
- 2 旅行先及び用務

| 旅行先            | 目的  |
|----------------|---|
| 富山県富山市         | 農業の6次産業化等について                             |
| 富山県立イタイイタイ病資料館 | イタイイタイ病資料館見学等                             |
| 富山県氷見市         | 北陸新幹線開業に伴う観光振興施策等について                     |
| 石川県七尾市(株スギヨ)   | ご当地ヒーローによる食育等企業の社会貢献活動及び企業並びに地域のPR効果等について |

# 自民党 8 会派合同視察

2015 年 11 月 16 日～19 日

16 日 移動

17 日 ①富山市役所 農業の 6 次産業化

②イタイイタイ病資料館

18 日 ①氷見市役所

北薩新幹線開業に伴う観光振興

②(株)スギヨ

ご当地ヒーロー食育活動

19 日 移動



# 農業の6次産業化等について

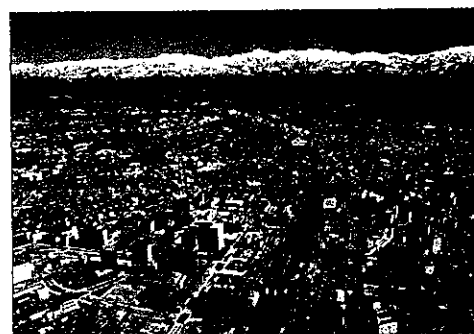
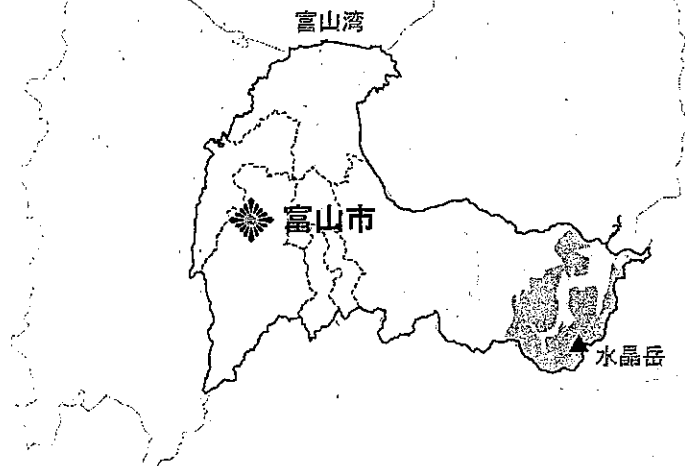
## 富山市

### 富山市の概要

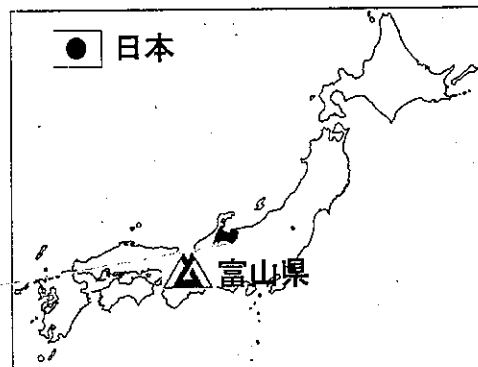


- 総面積: 1,241.77km<sup>2</sup> (県庁所在都市では2番目の広さ)
- 人口: 421,953人 (2010年国勢調査)
- 世帯数: 159,151世帯 (2010年国勢調査)
- 特徴: 海拔0mの富山湾から標高2,986mの水晶岳までの

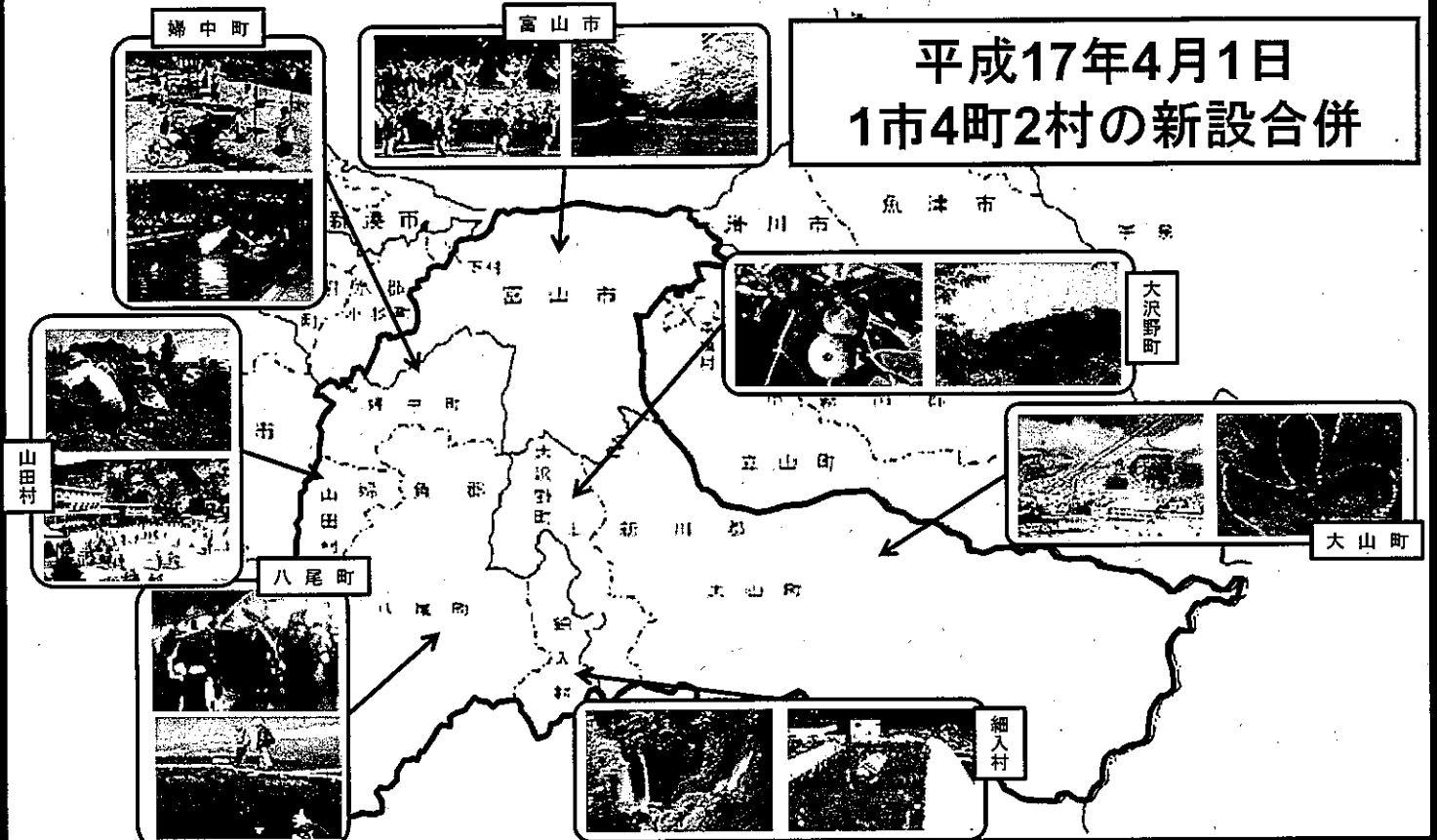
自然豊かな多様な地形  
 森林面積が市域の約7割  
 包蔵水力全国第2位 (富山県)  
 地熱資源量全国第2位 (富山県)



富山駅上空からみた市街地



# 新富山市の誕生



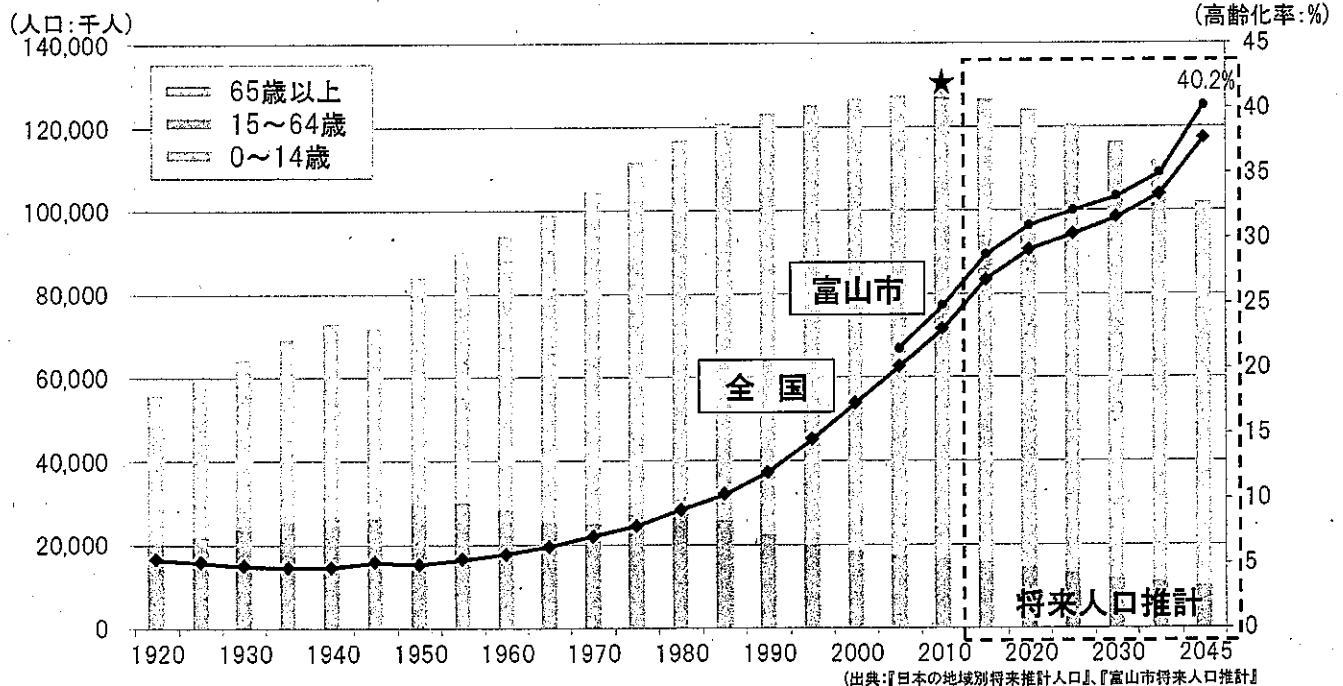
農業の6次産業化等について

COMPACT CITY TOYAMA

-3-

# 都市特性 ～人口減少と超高齢化～

日本の総人口は2010年をピークに減少に転じ、高齢化率は急激に上昇する見込み。特に地方都市においては、激しい人口減少と高齢化に陥ることから、20年・30年先を見据えた、将来世代に責任が持てる「持続可能な都市経営・まちづくり」が必要



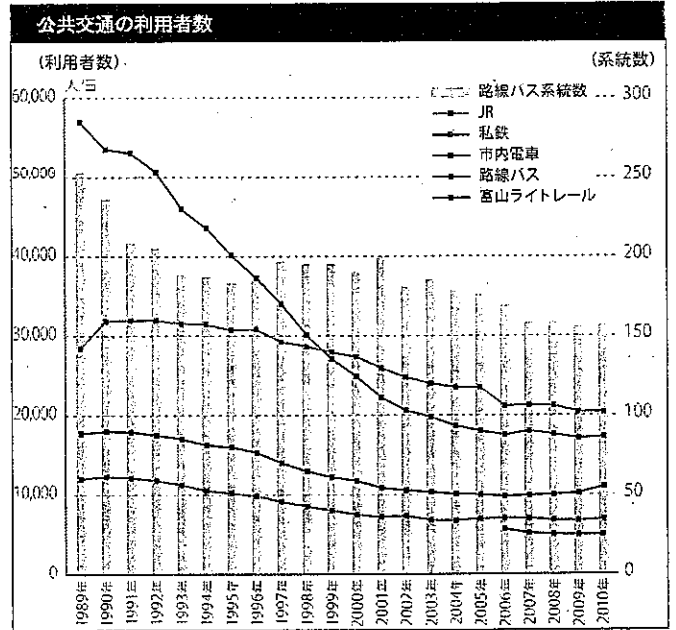
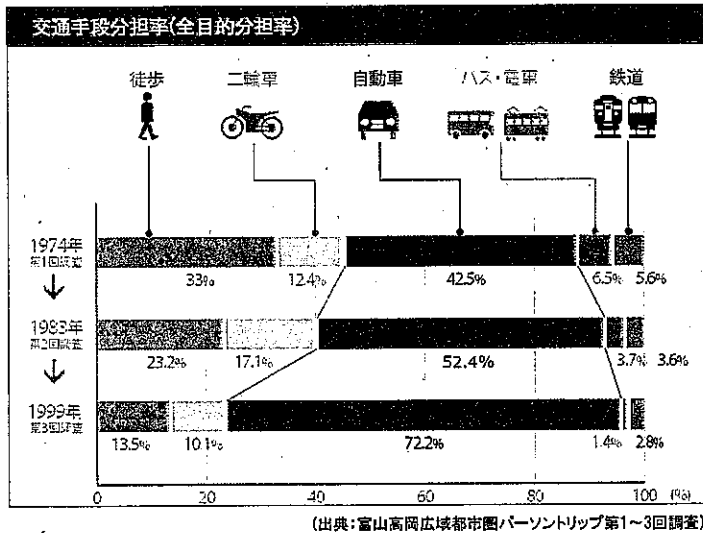
農業の6次産業化等について

FUTURE CITY TOYAMA

-4-

## 都市特性 ～過度な自動車依存と公共交通の衰退～

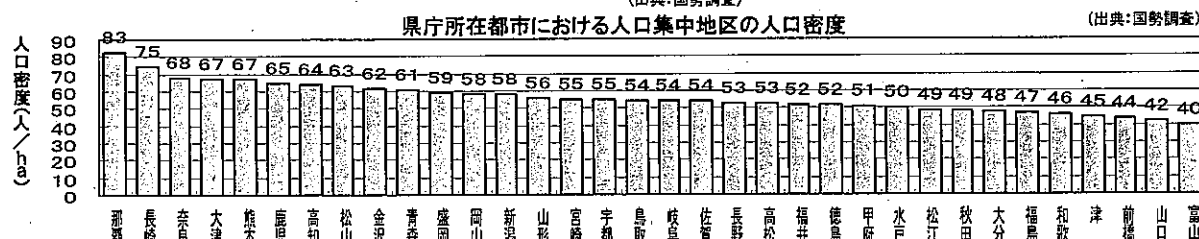
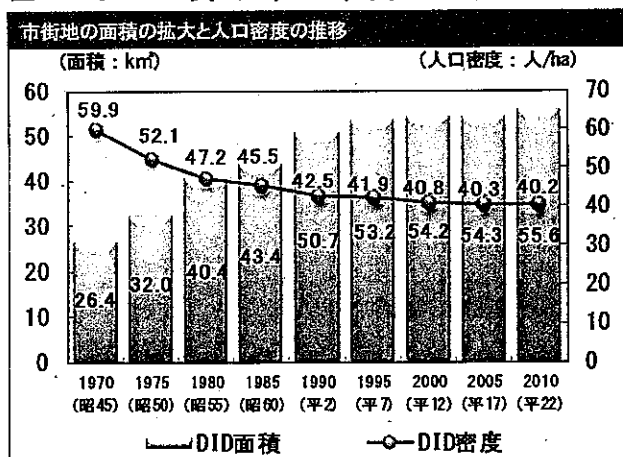
富山県の一世帯あたりの自動車保有台数は全国第2位(1.72台/1世帯当たり)で自動車の交通手段分担率は全目的で7割を超えるなど、過度に自動車に依存。一方で、公共交通の衰退は著しく、「車を自由に使えない人」にとって極めて暮らしにくいまちを形成。



▶中核都市圏では全国で最も高い自動車分担率

## 都市特性 ～市街地の外延的拡大～

高い道路整備率や強い戸建て志向等を背景に、市街地が外延的に拡大を続け、DID(人口集中地区)の面積は過去35年間で約2倍に増加。ごみ収集や除雪等にかかる都市管理コストの上昇や中心市街地の衰退が懸念される。



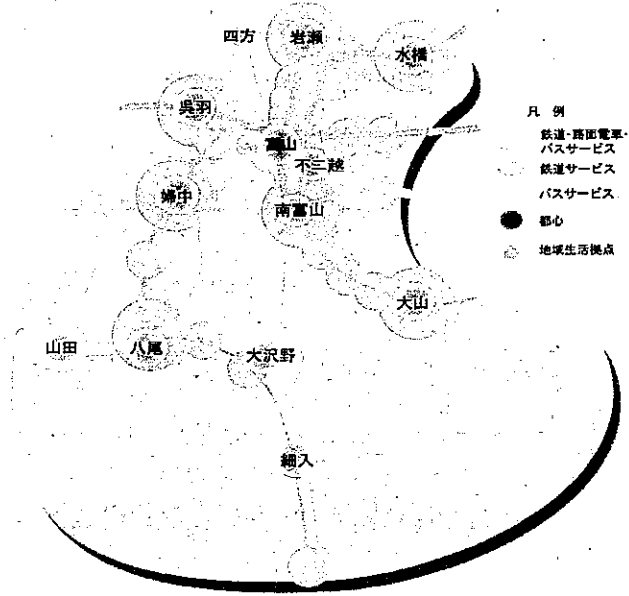
▶県庁所在都市  
では全国で最も  
低密度な都市

鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを実現

＜概念図＞

富山市が目指す「お団子と串」の都市構造

- 串 : 一定水準以上のサービスレベルの公共交通
- お団子: 串で結ばれた徒歩圏



＜実現するための3本柱＞

- ① 公共交通の活性化
- ② 公共交通沿線地区への居住促進
- ③ 中心市街地の活性化

富山市の農業の現状 ～水田に特化した農業形態～



水田



畑



果樹

耕地面積に占める水田の割合

|     |       |
|-----|-------|
| 全国  | 56.3% |
| 富山県 | 96.9% |
| 富山市 | 95.4% |

富山は米づくりが主体

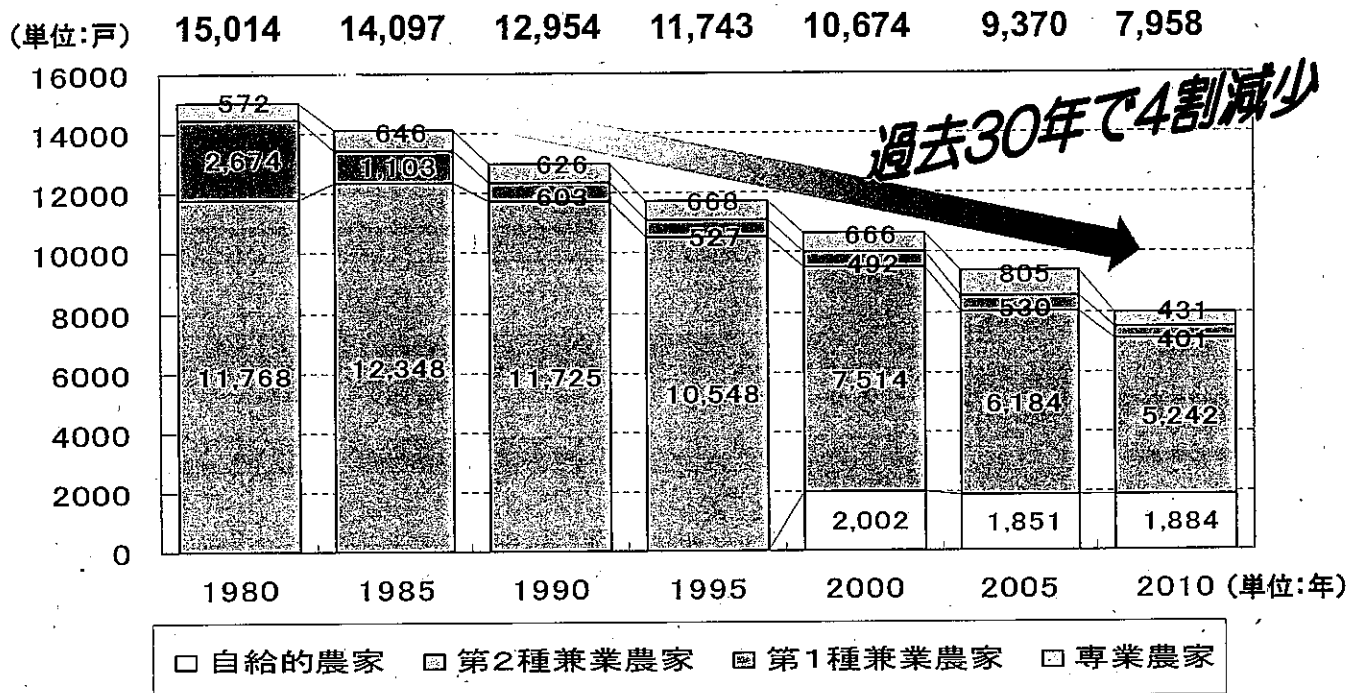
富山県の水田割合は  
全国トップ

野菜の農業産出額は  
全国最下位

参照：平成25～26年  
富山農林水産統計年報

# 富山市が直面する農業の課題 ～農家数の減少～

## 《富山市の農家数の推移》

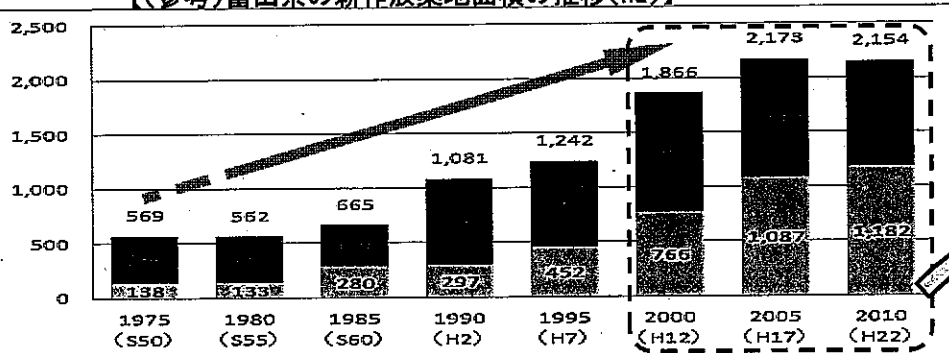


注:2000年より、従来の2種兼業農家を自給的農家と統計上区別した。

出典:農林業センサス

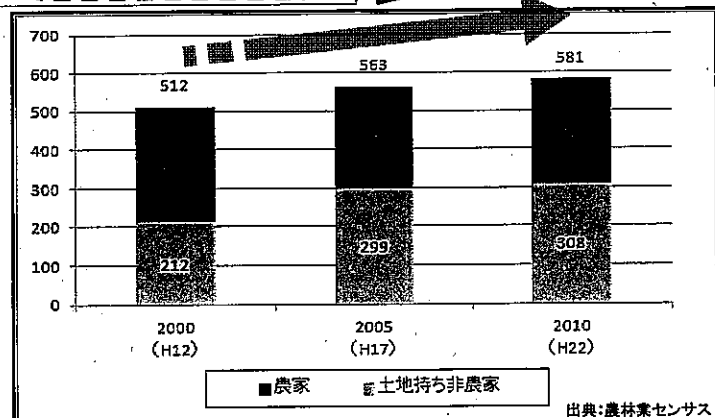
# 富山市が直面する農業の課題 ～耕作放棄地の拡大～

【(参考)富山県の耕作放棄地面積の推移(ha)】



富山県全体では過去20年で約2倍、過去30年で約4倍まで増加している。

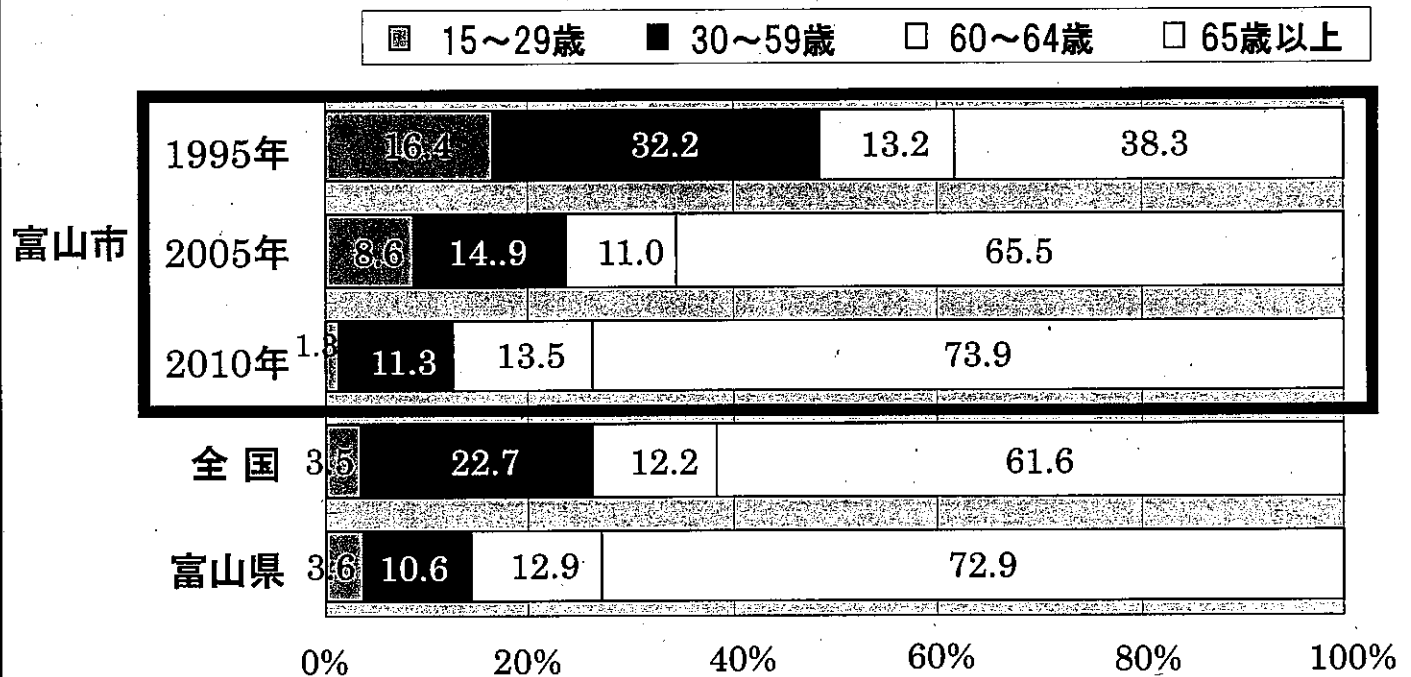
うち直近3回の富山市の耕作放棄地面積の推移



近年鈍化しつつあるものの富山市でも同様に増加傾向

出典:農林業センサス

《富山市の農業就業人口の年齢別割合の推移》



出典：農林業センサス

## 課題への対応

農業の担い手の「高齢化」と「減少」

耕作放棄地・不作付地の拡大

米価の低迷と米の生産調整強化

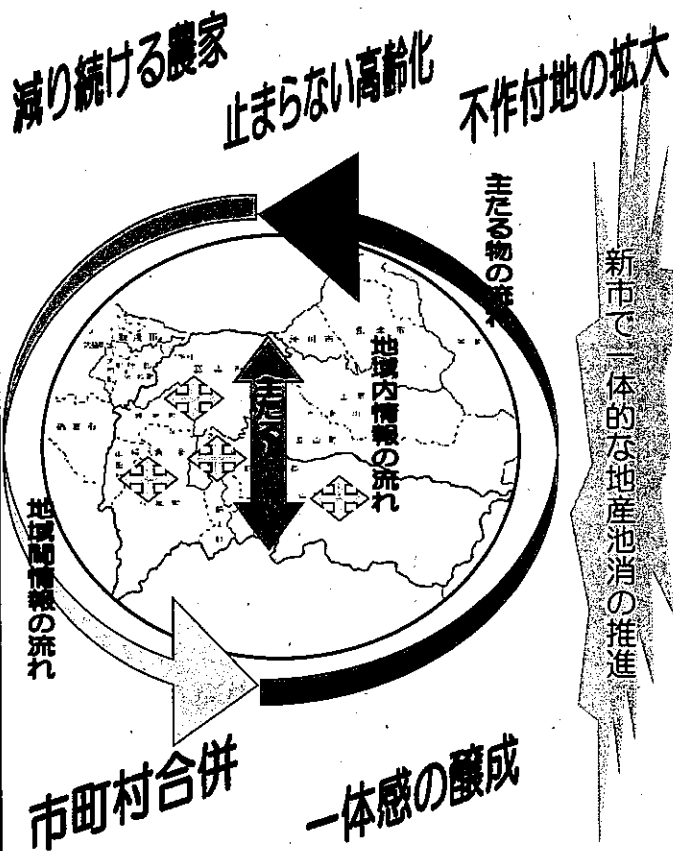
○多様な担い手の育成・確保

○耕作放棄地等の再生・活用

○新たな特産物の栽培と6次産業化の推進



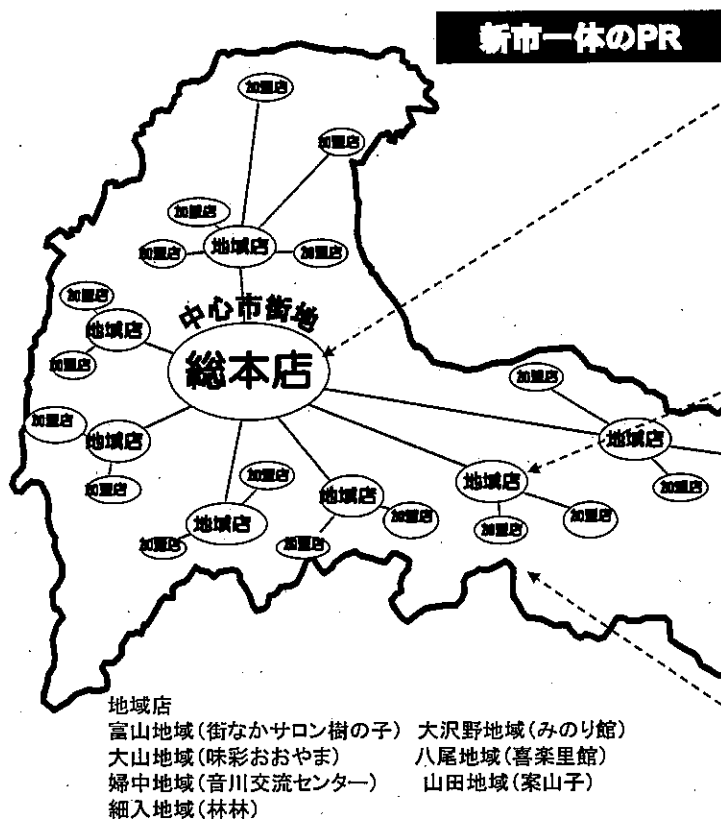
# とやまとれたたネットワーク事業



- ネットワーク推進の効果**
- PR拠点の設置
  - 地産地消の情報提供
  - 量販店における取組み
  - 生産者と消費者の交流活動
  - 地産地消を活かした産地づくり
  - 観光施設・外食産業における取組み
  - 学校・保育所等における取組み
  - 地場農林水産物のブランド化推進

- 生産者と消費者の信頼関係の構築
- 消費者ニーズの把握と生産現場への活用
- 「食」や「環境」についての理解
- 農林漁業者の所得機会の多様化

# とやまとれたたネットワークの概要



## 新市一体のPR

**総本店 (地産地消推進拠点) ー1店舗ー (H22年度開店)**  
 中心市街地において地場農林水産物の販売やそれらを食材とした伝承料理の普及・伝承等を通じて、地場農林水産物のPRと販売拡大を図ることにより、地産地消の推進と都市部と中山間地域との交流を促進するとともに、中心市街地の賑わい空間と観光スポットを創出。

**地域店 (地産地消PR拠点) ー7店舗ー (H18年度指定)**  
 了地域の特色のある四季折々のとれたたの農林水産物のPRによる地場産物の流通の拡大と地産地消の促進を図るため、地域に一カ所を拠点施設として指定。指定店(地域店)には「壁掛け」、「のぼり」等を設置しPR拠点として明確化。リレー市等を開催し地域店相互の交流を促進。

**加盟店 (地産地消販売拠点) ー約180店舗ー (H19年度～)**  
 加盟店(地場農産物を直販している個人又はグループ、インショップ等で公募により加盟要件を満たしているもの)には、「のぼり」を設置し、地場農林水産物の販売拠点を明確化し広く市民にアピールする。

- 地域店
- 富山地域(街なかサロン樹の子)
  - 大沢野地域(みのり館)
  - 大山地域(味彩おおやま)
  - 八尾地域(喜楽里館)
  - 婦中地域(音川交流センター)
  - 山田地域(案山子)
  - 細入地域(林林)

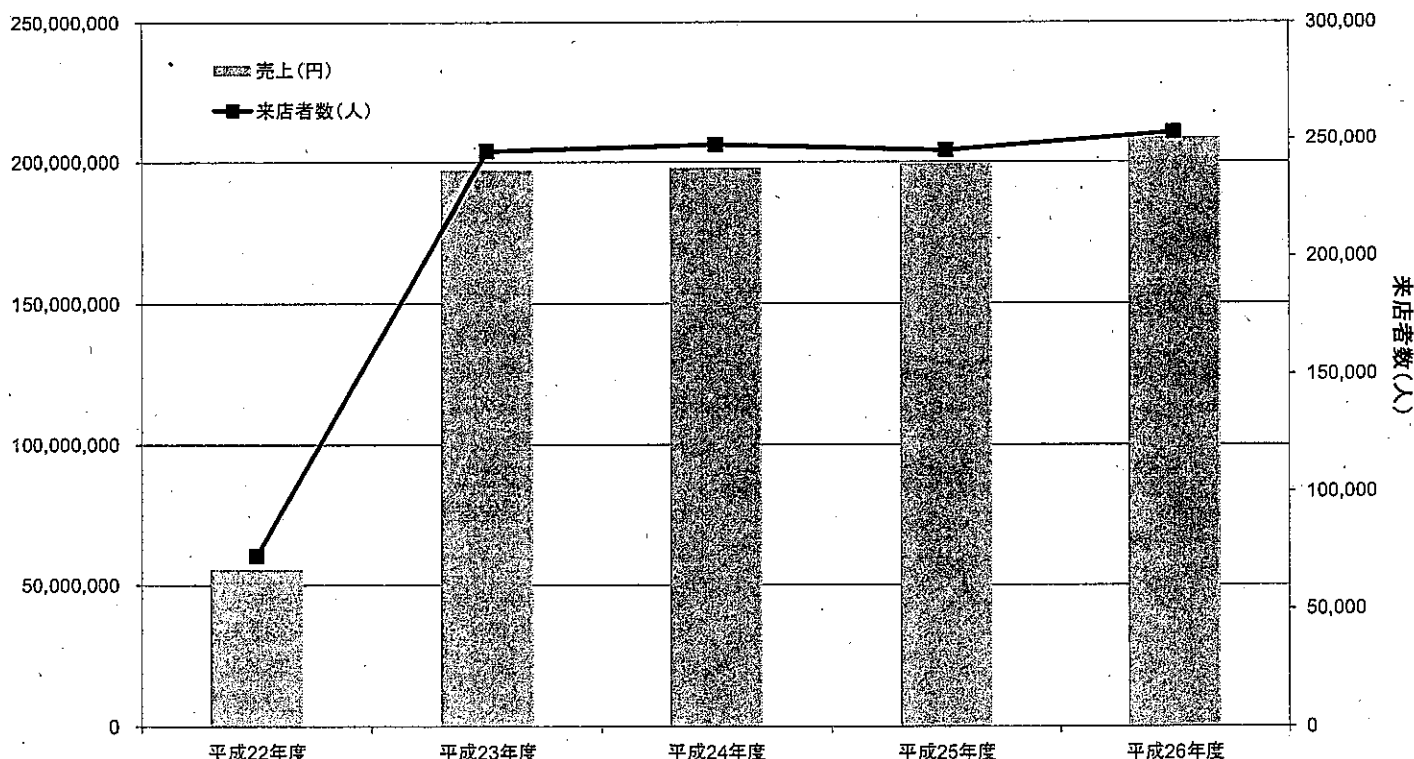
# 地場もん屋総本店の概要



- (1) 施設設置者 富山市
- (2) 所在地 富山市総曲輪三丁目3番地  
16号総曲輪ファツシヨビル
- (3) 構造 鉄筋コンクリート造5階建
- (4) 面積 653.13㎡(1階の一部、  
共用部分含む)
- (5) 施設構成
  - ① 地場農林水産物PR販売促進エリア  
地場農林水産物等陳列販売施設(平台・  
冷蔵ショーケース・POSレジ、バックヤード  
(冷蔵冷凍庫等)他)
  - ② 地産地消交流学习エリア  
地産地消関連交流学习施設(テーブル、  
キッチン他)
- (6) 開業日 平成22年10月22日(金)
- (7) 営業時間 午前9時30分～午後6時30分
- (8) 定休日 年末年始(12/31、1/1)

|    |                                       |
|----|---------------------------------------|
| 5階 | フォルツァ総曲輪 (映画・公演)                      |
| 4階 |                                       |
| 3階 | まちづくりとやま・富山ビューティカレッジ<br>(専門学校(美容師養成)) |
| 2階 | 富山製菓専門学校 (専門学校(製菓衛生師<br>養成))          |
| 1階 | 地場もん屋総本店・飲食店(2店)                      |

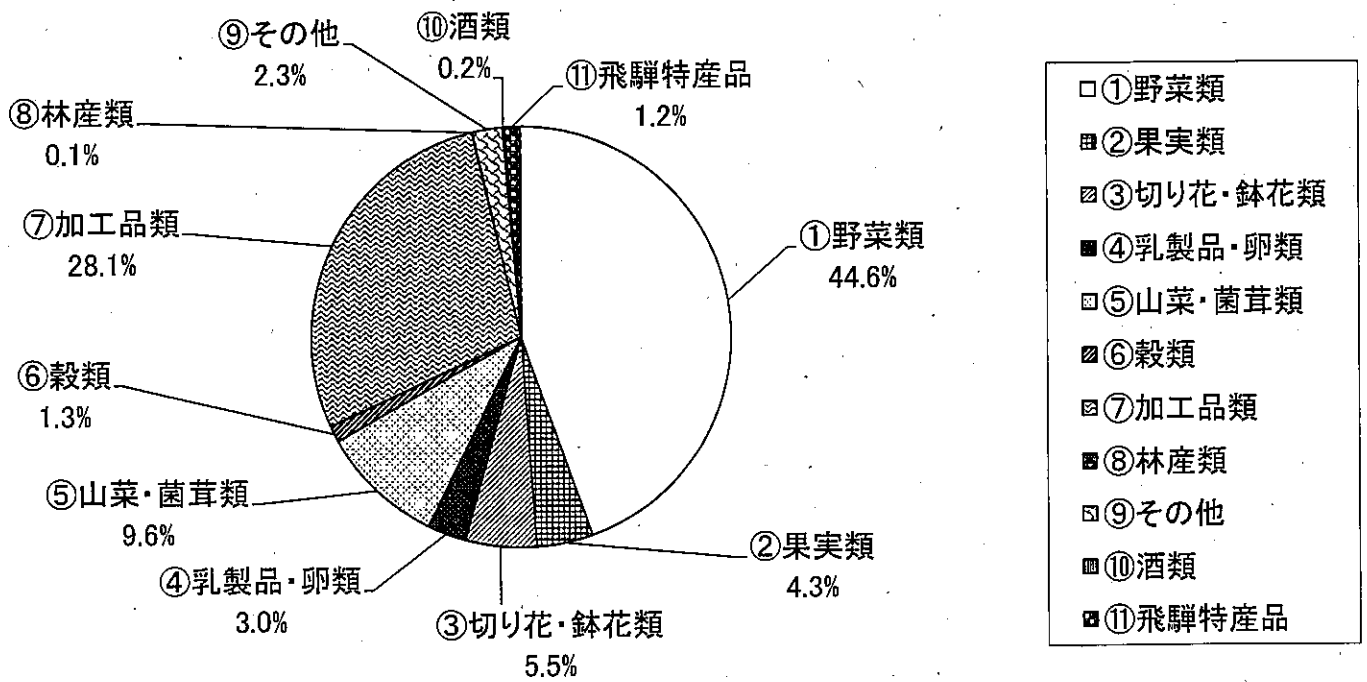
# 地場もん屋総本店の売上と来店者数 (開店以降)



年間売上2億円(54万円/日)、来店者25万人(666人/日)

# 地場もん屋総本店の売上構成（開店以降）

売上品数別



富山市産品の販売拠点として大きな役割を担う！

# 市内の農家が行う6次産業化 (No. 1)



米粉パン



いもまんじゅう



シフォンケーキ



フルーツジャム

# 市内の農家が行う6次産業化 (No. 2)



柿酢ソース どれも小さな取組... みょうが寿司



焼肉のタレ



漬物

## 「環境未来都市」構想

新成長戦略(平成22年6月閣議決定)に位置づけられた「21の国家戦略プロジェクト」の一つ

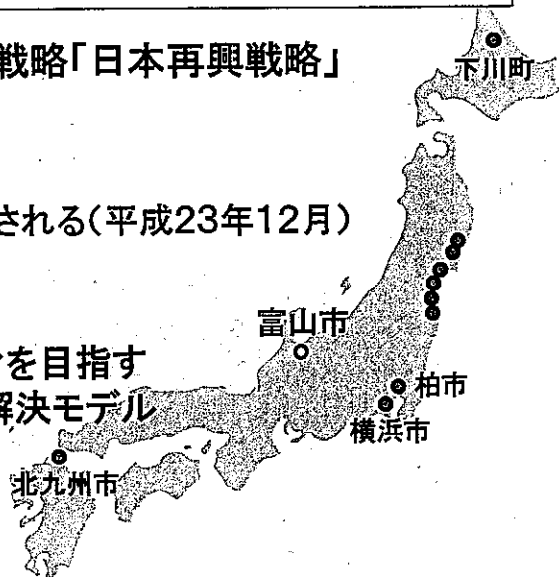
国が戦略的取組を行う「環境未来都市」を選定し、関連予算の集中や規制改革等の支援を講ずることにより、環境・超高齢化等の対応の面で、世界に類のない成功事例を創出するとともに、その成功事例を国内外に普及展開することを通じて、新産業の創出や地域活性化など、我が国全体の持続可能な経済社会構造の実現を目指すもの。

※平成25年6月に閣議決定された新たな成長戦略「日本再興戦略」にも位置づけられた

**富山市** を含む計5都市(被災地域を除く)が選定される(平成23年12月)

### 選定理由

LRTなどの公共交通を核としてコンパクトシティを目指す戦略的な提案であり、地方都市の抱える課題の解決モデルになり得る



## <地方都市の現状と課題>

人口減少、超高齢化、CO2排出量の増大、厳しい財政運営、維持管理費等行政コストの増大 etc

これらに対応できる地方都市の1つの未来像を提示

### 1. 公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり

公共交通の活性化、中心市街地や公共交通沿線での都市機能の集積

### 2. 質の高い魅力的な市民生活づくり

歩いて暮らせるまち、文化度の高い暮らし、高齢者の外出機会の創出、ソーシャルキャピタルの醸成

### 3. 地域特性を十分に活かした産業振興

地場産業である薬業の最大限の活用、再生可能エネルギーの活用、企業誘致、新産業の創出

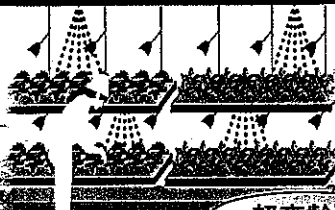
サステイナブル(持続可能)な都市を創出することにより、  
「誰もが暮らしたいまち」「誰もが活力あるまち」を実現

## 将来像の実現に向けた主な取り組み内容

再生可能エネルギーを活用した農業活性化



薬用植物栽培工場の構築



ヘルシー&交流タウンの形成



環境

超高齢化

LRTネットワークの形成



公共交通の活性化

中心市街地・公共交通沿線での  
都市の諸機能の集積

再生可能エネルギーの活用

歩いて暮らせるまちづくり

薬用植物生産システムの構築

人との触れ合いによる介護予  
防・在宅支援サービス

地域コミュニティ主体の交流空間



農業・森林・林業

✓6次産業化による富山ブランドの育成

✓森林資源の有効活用による林業の  
自立モデルの構築

✓里山再生を担う人材育成拠点の整備

6次産業化による多様なビジネス推進



セーフ&環境スマートモデル街区の整備

エコ活動拠点施設等  
を備えた商業施設

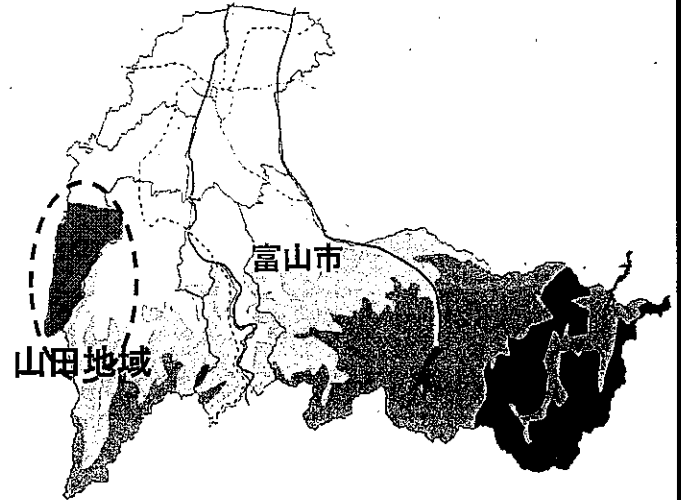
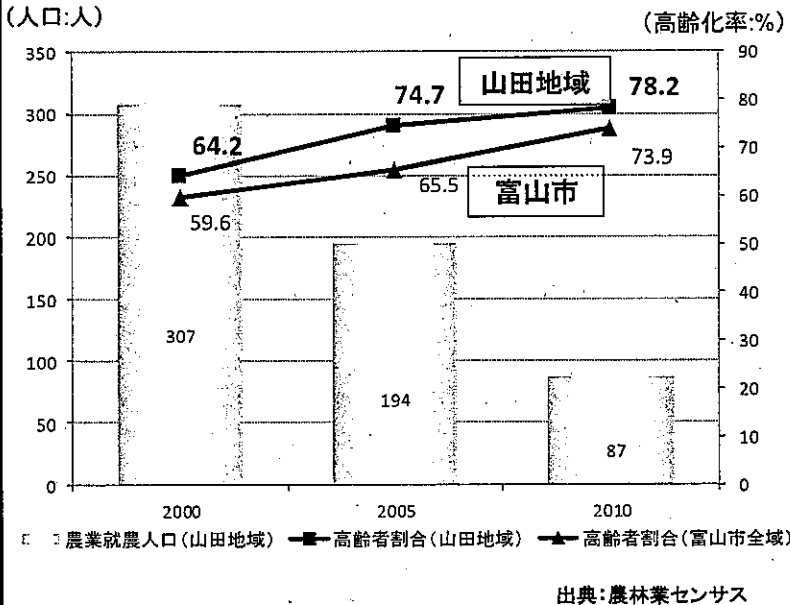


バリアフリー、ユニバーサル  
デザイン化された生活道路

# 山田地域における農業の課題

中山間地の山田地域においては、農業就農人口が10年で3分の1まで減少したほか、富山市全体と比較し農業就業者の高齢化率も高く推移している。

## 山田地域の農業就業人口の減少と高齢化の進展

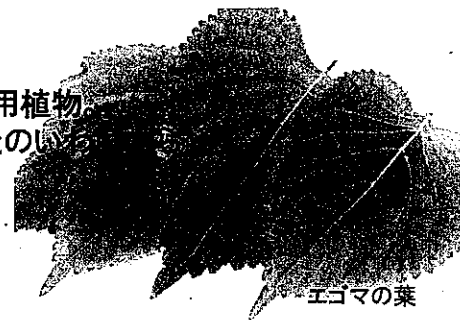


# 環境未来都市プロジェクト「牛岳温泉熱等を活用した農業の6次産業化」

高齢化や過疎化が進む山田地域に植物栽培工場を整備。「エゴマ」の生産、加工、流通販売までを一体的に行う6次産業化を推進し、地域の特産品化や雇用創出を図るとともに、健康長寿都市を目指す

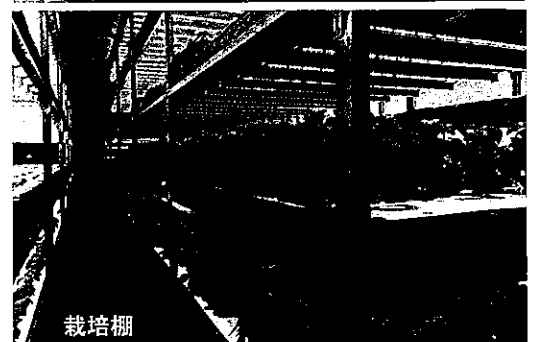
## エゴマ

シソ科に属する一年草の薬用植物。食べると十年長生きできるといわれる。「じゅうねん」とも呼ばれる。



## 事業効果

- 新たな特産品の創出を契機とした地域振興・地域活性化により、農山村の暮らしを維持
- 植物工場において、地元の高齢者を雇用し、高齢者の生きがいを創出
- 有用な成分を含むエゴマを病院や学校等の給食へ活用することにより、健康長寿都市を実現
- 露地栽培への展開(H25～)による耕作放棄地の解消



エゴマとは

- ・シソ科に属する一年生の植物
- ・「じゅうねん(東北)」、「えぐさ(長野)」、「あぶらえ(岐阜)」など、地域によって呼称は様々
- ・原産地はインドの高地から中国雲南省の高地で、その後中国、韓国、日本へ
- ・平安時代の初期頃から、灯籠や提灯の燃料や傘、雨合羽などの塗料として広く使われるように
- ・江戸時代の後期頃からなたね油が普及したことにより、エゴマの栽培が減少し、現在は、東北地方の一部で自家用伝統食として残るのみとなった



近年、アレルギー疾患や生活習慣病等の改善効果が期待できるオメガ3系脂肪酸(α-リノレン酸)を豊富に含む食品として、エゴマ油に注目が集まるように



エゴマの効能 < 油 >



体内では作ることができず、食品から摂取しなければならない「必須脂肪酸」

脂肪酸

飽和脂肪酸

不飽和脂肪酸

一価不飽和脂肪酸

多価不飽和脂肪酸

オメガ9系脂肪酸

オメガ6系脂肪酸

オメガ3系脂肪酸

主な脂肪酸

ラウリン酸、  
パルミチン酸など

オレイン酸、  
パルミトレイン酸など

リノール酸、  
γ-リノレン酸など

α-リノレン酸、  
EPA、DHAなど

主な植物油

ココナッツオイル  
パームオイル

オリーブオイル  
なたね油

大豆油  
ゴマ油

エゴマ油  
アマニ油

特徴・作用

重要なエネルギー源であるが、過剰摂取は動脈硬化性疾患のリスクを高めるとされる

動脈硬化や高血圧の予防に効果的とされるが、過剰摂取により、冠動脈疾患のリスクを高めるとされる

子どもの発育には欠かせないが、炎症を惹起するプロスタグランジンなどを生成するため、多量摂取時の安全性が危惧される

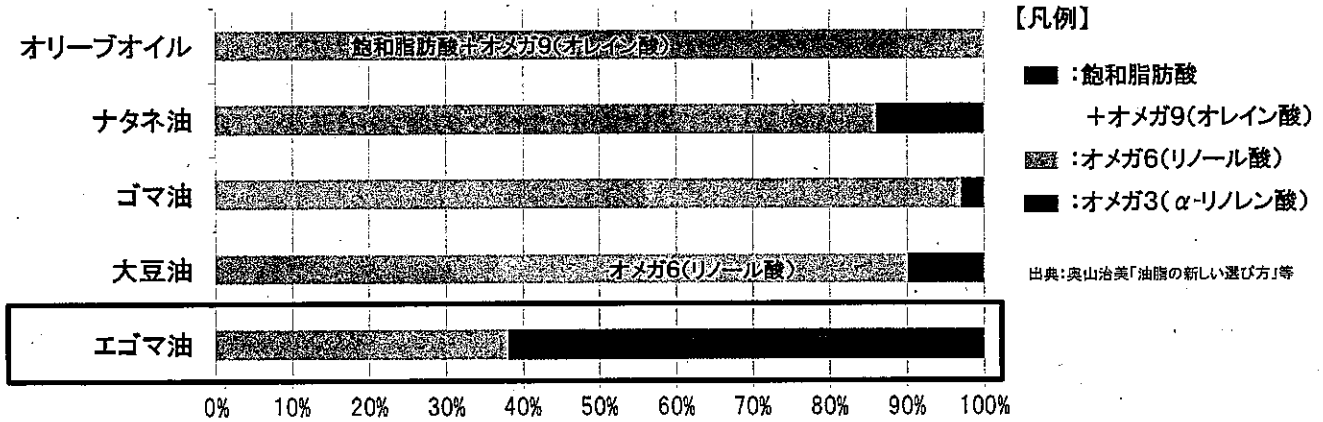
リノール酸に拮抗し、抗アレルギー、脳の活性化、血中中性脂肪の低下、血栓生成防止など生活習慣病の予防などに効果的とされる

出典：厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2015年版)」等

➤ エゴマの油には、アレルギー疾患や生活習慣病等の改善効果が期待できる、オメガ3系脂肪酸(α-リノレン酸)が豊富に含まれている。

# エゴマ油の比較優位性

- ・植物油には、さまざまな脂肪酸が少しずつ混ざっているが、「エゴマ油」のオメガ3系脂肪酸（ $\alpha$ -リノレン酸）含有割合は約60パーセントと格段に高い



- ・厚生労働省が推奨する「オメガ3系脂肪酸」の目標摂取量は1日およそ2グラム



1日、**2尾** (刺身など生食の場合)



1日、**小さじ1杯** 程度

## エゴマの効能 < 葉 >

エゴマの葉には、ロズマリン酸やクロロフィル、ビタミンCなど、強い抗酸化作用を有するとされる機能性成分が豊富に含まれている。

### < ロズマリン酸を多く含む食品 >

シソ、エゴマ、ローズマリー、レモンバーム

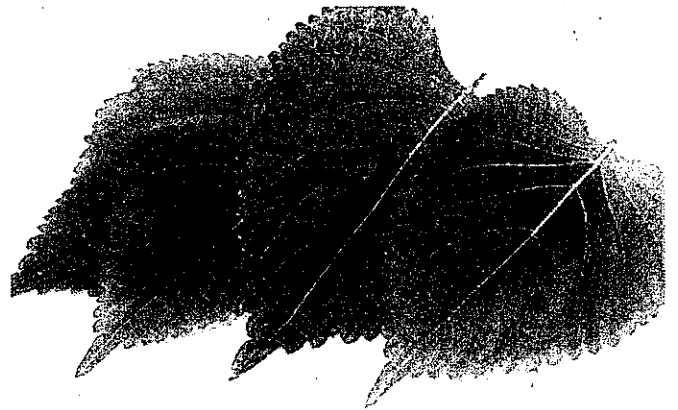
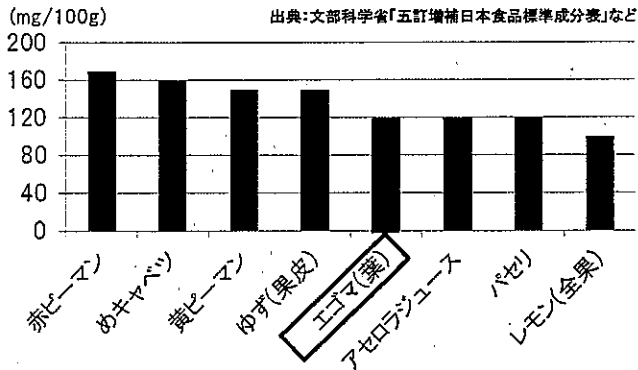


### 抗酸化作用とは

活性酸素から身体を守る(身体の酸化を防ぐ)働きを指し、この機能が低下すると、動脈硬化などを引き起こし、生活習慣病や老化促進を招くとされる。

本来人間が持ち合わせるこの抗酸化作用は、加齢によりその機能が徐々に低下するとされることから、食事からの摂取が重要。

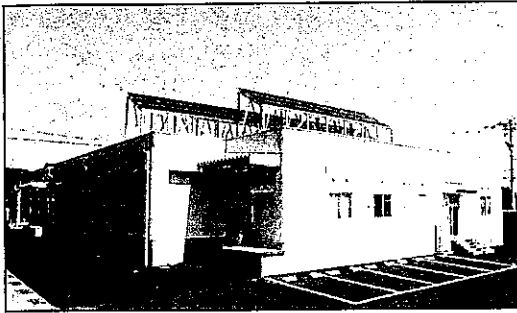
### < ビタミンCを多く含む食品 >



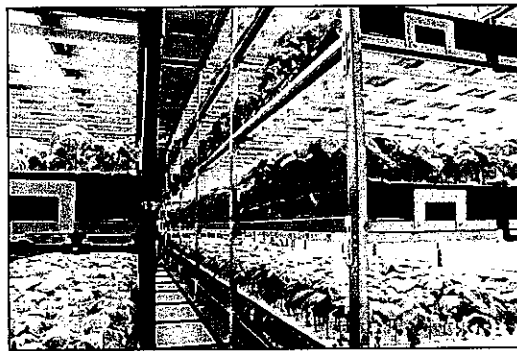


## 牛岳温泉熱等を活用した植物工場の整備

エゴマの6次産業化を推進するシンボリックな施設として、エゴマの葉を生産する栽培工場を整備(H26.3.25竣工)。室内で管理された生産により、安全・安心かつ安定的な供給が可能。



▲ 牛岳温泉植物工場



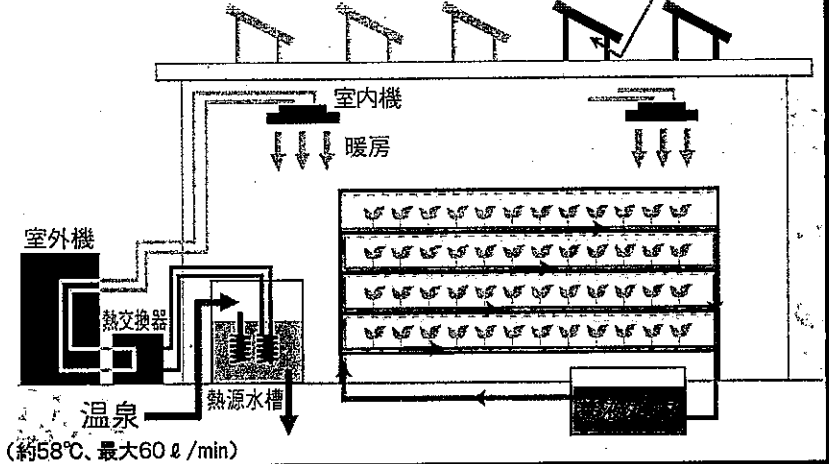
▲ 栽培状況

農業の6次産業化等について

### 特徴

- 地域特性である牛岳温泉熱を空調(暖房)に活用
- 両面受光型太陽光パネルによる自家発電
- 植物用LED照明による安定的な栽培

再生可能エネルギーの活用と省エネルギー化による環境負荷を低減したエコな農業



## 露地栽培への展開

### <露地栽培への展開>

山田地域でのエゴマの定着化に向けた露地の試験栽培や生産性調査等を実施

- H25年度 : 1.2ha
- H26年度 : 2.0ha
- H27年度 : 4.8ha



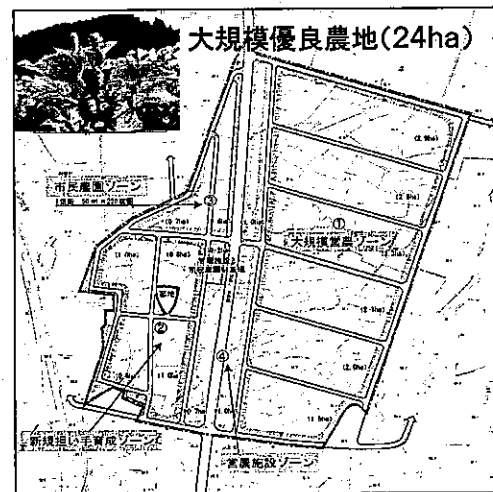
### <他地域への普及拡大>

市内の一団の耕作放棄地等を市が基盤整備し、大規模優良農地として再生し、エゴマの大規模露地栽培を行う。

耕作放棄地等



整備



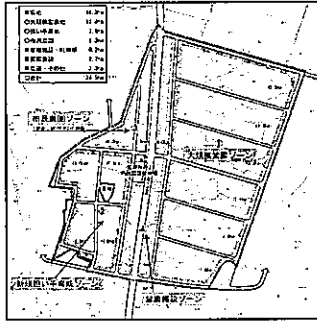
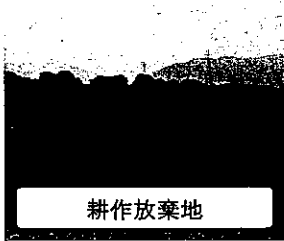
## エゴマ6次産業化について

課題 ○農業の衰退(担い手不足、耕作放棄地拡大など)  
○地域経済の活性化(輸出産業の創出)  
○市民の健康増進(生活習慣病の予防)

取組 ○薬用植物の一種であるエゴマの大規模露地栽培  
○ソフトカプセル工場でエゴマ油サプリメントを製造  
○生活習慣病予防に資する輸出産業の創出

### 一団の耕作放棄地(24ha)を大規模優良農地に再生

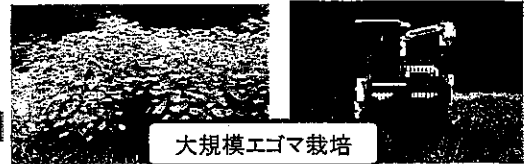
耕作放棄地を市が基盤整備し、大規模優良農地として再生。企業や新規就農者等、意欲的な農業の担い手に農地を貸与。



総事業費:9.3億円  
農業基盤整備促進事業:5.1億円  
単独事業:4.2億円

### エゴマ大規模露地栽培の推進

再生した農地でエゴマの大規模露地栽培を行なうため、トラクター、定植機、コンバイン等を購入し、農業経営体に貸付。



総事業費:0.9億円  
地域再生戦略交付金事業:0.7億円  
単独事業:0.2億円

### 6次産業化の推進

エゴマ油を、高付加価値の健康サプリメントへと6次産業化



総事業費:10億円  
地域再生戦略交付金事業:10億円



### 輸出産業の創出

生活習慣病の予防に効果的なα-リノレン酸を豊富に含むエゴマ油を注入したサプリメントを、生活習慣病が蔓延する先進国へ海外展開

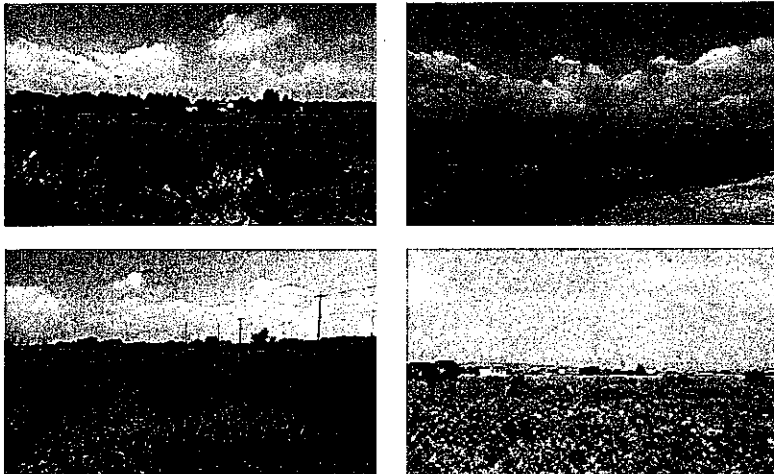


α-リノレン酸

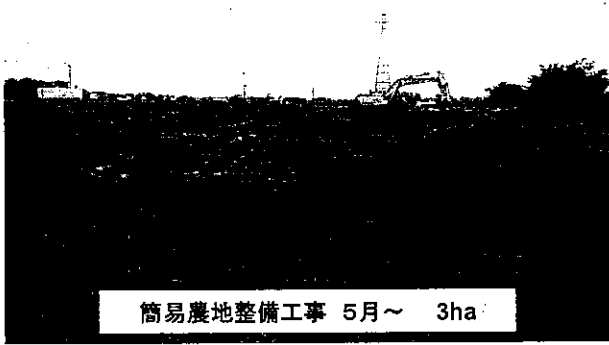
## 6次産業化の推進による農村地域の活性化

## モデル事業候補地:塩地区の概要

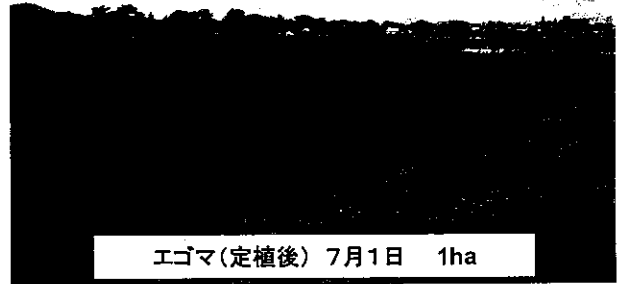
- ・富山市中央南部に位置する平地農村地域
- ・北陸自動車道:富山ICまで約5km
- ・面的に広がりのある耕作放棄地及び不作地の存在  
約24ha(土地改良事業未整備)



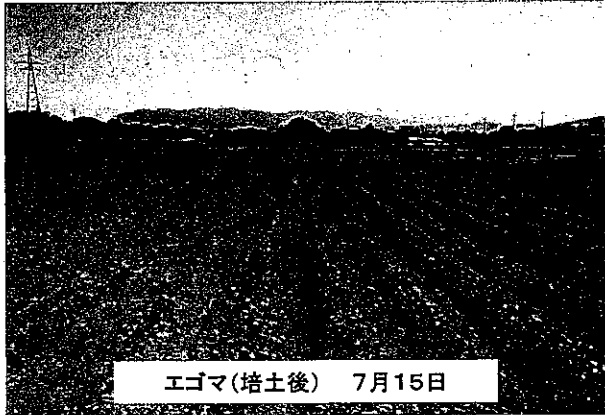
- ・過去に何度も圃場整備の話が持ち上がったが、用水の水源確保の問題等から集落がまとまらず、実施されなかった。
- ・過去に民間による開発計画等もあったが農地転用が許可されないことから、開発されなかった。



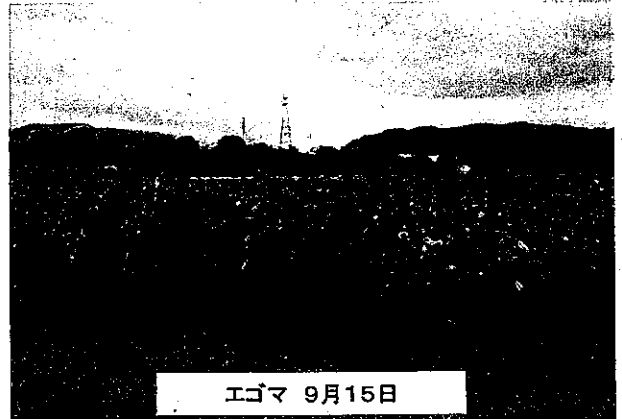
簡易農地整備工事 5月～ 3ha



エゴマ(定植後) 7月1日 1ha



エゴマ(培土後) 7月15日



エゴマ 9月15日

## エゴマの葉・実・油による一体的な6次産業化の推進



植物工場を拠点としたエゴマの葉の生産と、耕作放棄地等での露地栽培によるエゴマの実・油の生産を起点とし、一体的にエゴマの6次産業化を推進し、地域経済の活性化や雇用創出を図るとともに、エゴマの消費を促進することで健康寿命延伸を図る。

### エゴマの葉



#### 温泉熱等を活用した栽培工場

- ・温泉熱や太陽光発電、LED照明などを活用した栽培
- ・室内での水耕栽培により、安全安心なエゴマを提供



### エゴマの実・油



#### 露地栽培の展開

- ・耕作放棄地等でエゴマを露地栽培し、エゴマ油の生産を拡大



6次産業化(生産、加工、流通販売等)の一体的な推進



ソフトカプセル工場での  
健康サプリメント化

学校給食・病院給食



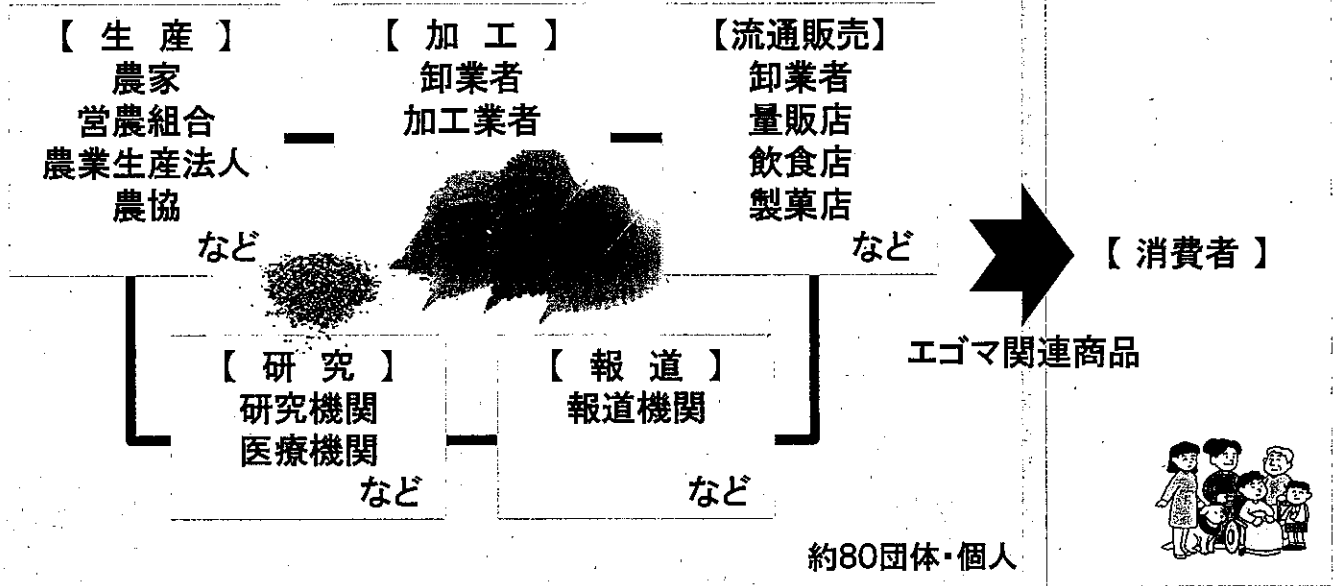
エゴマ入りジュース

エゴマ入りお菓子

# エゴマの6次産業化推進に向けた組織体制

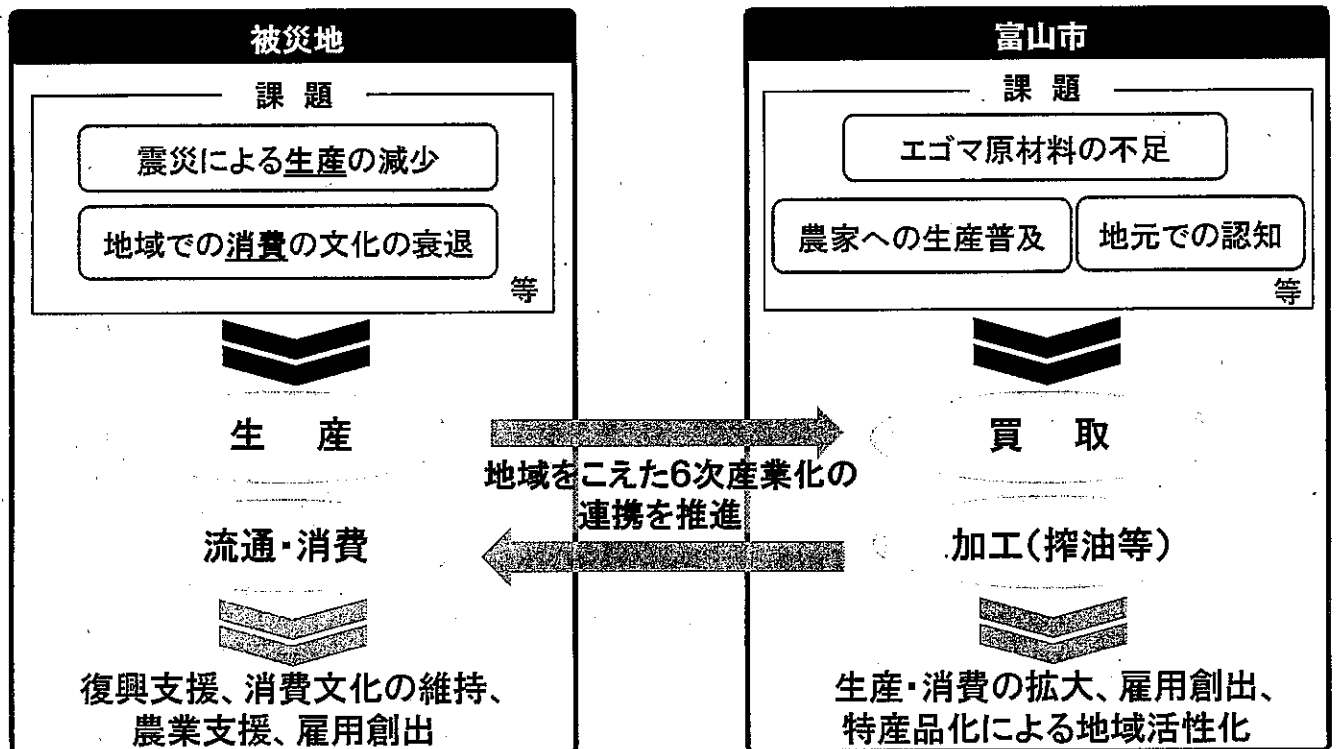
民間事業者が主体となって、生産、加工、流通販売、研究、報道などにかかわる企業・団体・個人で、「エゴマ6次産業化推進グループ」を設立。植物工場を拠点に地域をあげてエゴマの6次産業化を推進。

## エゴマ6次産業化推進グループ



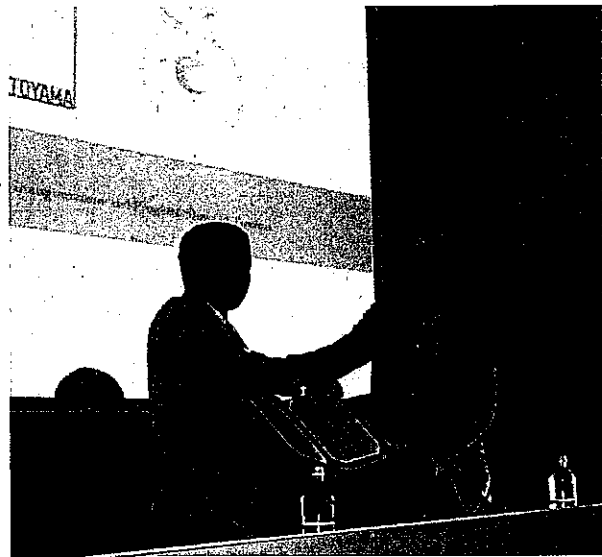
# 東日本大震災の被災地域との連携

エゴマの一大産地であった被災地での生産や販売が依然困難である状況を踏まえ、被災地と連携したエゴマの取組みを推進し、被災地の復興支援にも繋げる



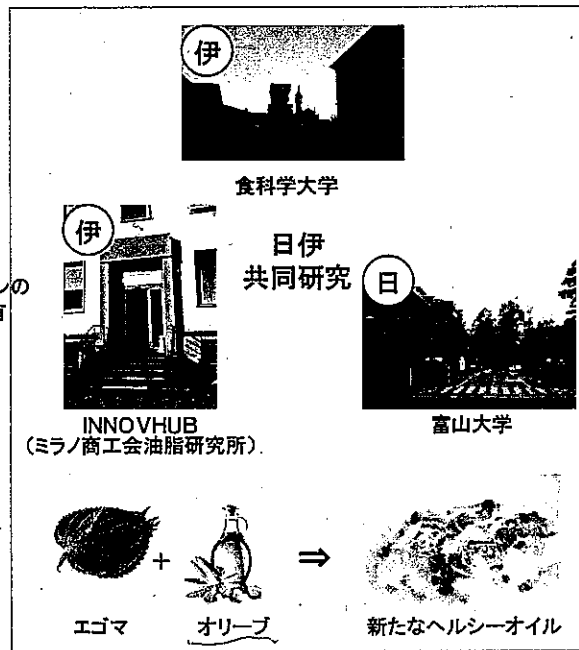
# 国際展開 ～イタリア食科学大学との協定締結と日伊共同研究～

平成27年5月、イタリアの食科学大学と、イタリア国外の自治体としては世界初となる協力協定を締結するとともに、エゴマ6次産業化を目指す環境未来都市プロジェクトの一環として、エゴマ油とオリーブ油を最適配合したグローバルなヘルシーオイルを開発すべく、日伊共同研究を開始することで合意。



協定を締結する森富山市長(写真左)とシルピオ・バルベロ食科学大学副学長/スローフード協会副理事長(写真右)

ビジョンの共有



企業等へ  
知見を提供

6次産業化の推進・海外展開  
エゴマのブランディング

# 「富山市まち・ひと・しごと総合戦略」への位置づけ

富山市まち・ひと・しごと総合戦略にも「エゴマの6次産業化」等の施策を位置付け、地方創生の核として農林水産業の成長産業化を推進

## 富山市まち・ひと・しごと総合戦略

### 基本目標1

安定した雇用を創出する  
～地方の中核を担う都市として躍動するまち～

### 基本目標2

交流・定住を促進し、  
富山市への新しい人の流れをつくる  
～選ばれるまち～

### 基本目標3

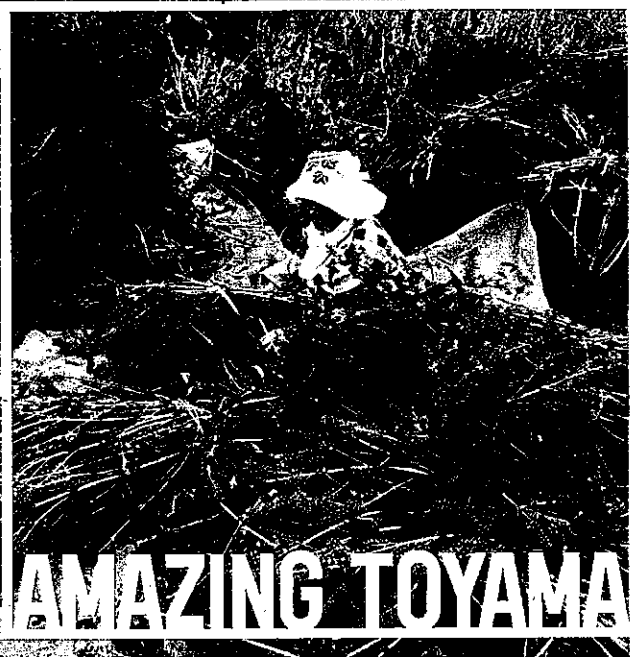
生活環境の一層の充実を図る  
～すべての世代が安心して暮らせるまち～

### 基本目標4

公共交通を軸とした拠点集中型の  
コンパクトなまちづくりを進める  
～コンパクトシティの推進～

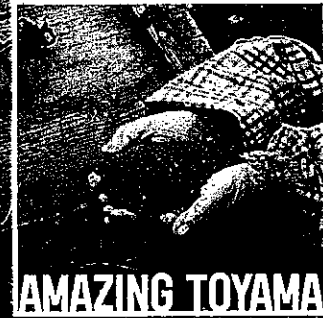
## 《農林水産業の成長産業化》

| 施策   | KPI   |   |
|--|---|---|
|  | 基準値   | 目標値   |
| <b>エゴマの6次産業化</b><br>富山市が特産化を進める「エゴマ」の6次産業化を推進するため、エゴマオイルの健康面での有用性のアピール等により、エゴマのグローバルブランド化を目指す。 | エゴマオイル関連商品等の展開による雇用創出:新規                              | エゴマオイル関連商品等の展開による雇用創出:10名(平成31年度)                       |
| <b>農業に関わる人材育成の支援</b><br>農作業のサポートを担う農業サポーターの育成や、農業サポーターと農業者とのマッチング等による就労支援を行う。                  | ①農業サポーター新規登録者:35人<br>②農業サポート新規マッチング成約件数:19件(平成26年度実績) | ①農業サポーター新規登録者:200人<br>②農業サポート新規マッチング成約累計件数:100件(平成31年度) |
| <b>薬用植物等の振興対策</b><br>漢方薬や健康食品の原料となる薬用植物等の生産拡大を通じて中山間地域における農林業の振興を図る。                           | 薬用植物等栽培面積:4.2ha(エゴマを除く)(平成26年度実績)                     | 薬用植物等栽培面積:10ha(エゴマを除く)(平成31年度)                          |



**AMAZING TOYAMA**

エゴマ収穫作業(富山市下夕地区)



**AMAZING TOYAMA**

ご清聴ありがとうございました

**富山市**

## イタライ病について

しっかり学んでいただくために



### 子どもにもわかりやすい展示

○大塚ポインタは興味をもって学べるよう工夫しています

- ・ジオラマに映像と絵本を組み合わせた解説
- ・さわったり、のぞいたりできる展示物
- ・大型スクリーンでの臨場感あふれる映像など

○展示を要約してもらったための解説を充実しています

- ・資料館スタッフやボランティアによる展示解説
- ・音声で展示内容をご案内する「音声ガイド」……5ヶ国語
- ・展示の概要を冊子にまとめた「展示ガイドブック」……5ヶ国語
- ・5ヶ国語/日本語、英語、中国語、韓国語、ロシア語
- ・展示をヒントに問題を解きながら学習する「子どもワークシート」

○タッチパネル端末までさらに詳しい情報を提供します

展示室の各コーナーには、展示パネルよりもさらに詳しい情報をご覧いただけるタッチパネル端末を設置しています。

### 貴重な体験をされた「語り部」による講義

患者のご家族などで、イタライ病の恐ろしさを実感し、多くの問題を乗り越えてきた「語り部」の方から、貴重な体験を聞くことが出来ます。(原則10名以上の団体が対象)



### 学校の課外授業の積極的な受入れ

- ・資料館見学の前学習などを活用できる副読本を発行
- ・語り部講話や解説付きの展示見学などのメニューを揃えた団体向け学習プランを用意

### 国内外への情報発信

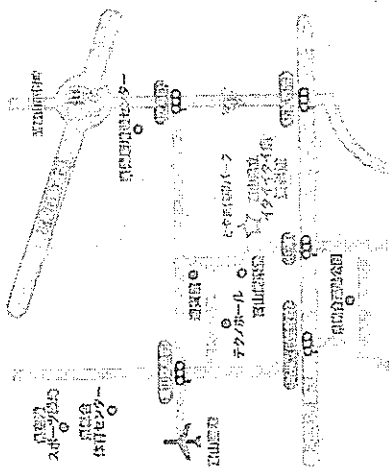
イタライ病や資料館に関する情報誌、5ヶ国語に対応したホームページなどで国内外に広く発信します。

開館時間：9:00～17:00 (展示室への入室は16:30まで)

入館料：無料

休館日：月曜日 (休日の場合は翌日)、元日

\*設備点検その他の理由により、臨時休館とする場合があります



### 〈車を運転する場合〉

富山から、国道41号線・威阜方面へ、聖徳口交差点を右折、「富山迎賓館」を左折して約400mです(富山から約5分)。

### 〈駐車場の概要〉

- ①無料400台
- ②バス等大型車の駐車は、第2駐車場奥のバス専用スペースをご利用ください。

③車椅子利用専用駐車場は、9台あります。身障者手帳など無いご利用とわかるものをごラッシュボードに提示願います。

### 〈電車をご利用の場合〉

最寄り駅は「伊志山原(南口)」です。伊志山原からは、タクシーまたはバスをご利用ください(タクシー利用の場合は約20分、バス利用の場合は約30分かかります)。

### 〈バスをご利用の場合〉

- ①健康パーク前停車  
伊志山原(南口)バス停～「富山笠巻/八尾崎町/総合運動公園」方面(乗車時間約30分)
- ②健康パーク最寄りのバス停「中坪口」(乗車時間約30分+徒歩約10分)
- ③健康パーク最寄りのバス停「下飯野」(乗車時間約25分+徒歩約15分)

## 富山県立

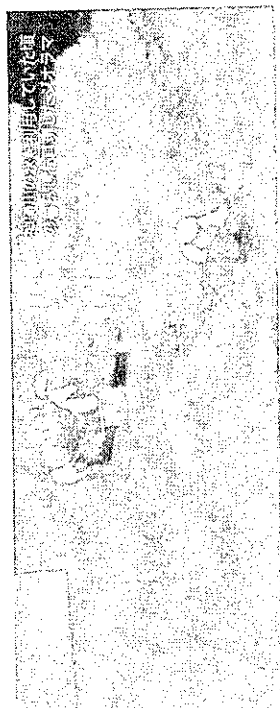
# イタライ病資料館

イタライ病の歴史や治療法を学ぶ

## 富山県立イタライ病資料館

〒939-8224 富山県富山市菱杉151番地(「とやま健康パーク」内)  
TEL: 076-428-0830 FAX: 076-428-0833

<http://itaitai-dfs.jp>





## 館内の案内

2F

### 資料閲覧室

イタイタイ病のほか、環境や健康などに関する図書や映像がご覧になれます。

### 交流学習ルーム

団体を対象としたガイダンスや語り部講話などに利用します。80名の収容が可能で、2室に分割できます。  
\*「交流学習ルーム」は、貸出し(予約)も可能です。

## イタイタイ病の教訓を活かし 美しい水と豊かな大地を未来へ

イタイタイ病は、富山県の神通川流域で起きた日本の四大公害病の一つで、患者が「イタイ、イタイ」と泣き叫ぶことからこの名が付いたといわれています。この病気は、大正時代頃から発生し、神岡鉱山(岐阜県飛騨市)から排出されたカドミウムが神通川の水や流域を汚染し、この川水や汚染された農地に粟つた米などを通じて体内に入ることによって引き起こされました。

患者はもろろん、その家族や地元の住民たちもつらくて辛い日々が長い間続きました。裁判では住民側が勝訴しましたが、患者救済や健康調査は今もおこなわれています。汚染された環境については、被害の克服に向けた長年にわたる努力によって、今では美しい水と大地がよみがえっています。

イタイタイ病資料館は、子どもたちをはじめ、幅広い年代の人々が、

- 1 「イタイタイ病の恐ろしさ」を知り
- 2 「克服の歴史」を学び
- 3 県民一人ひとりが「環境と健康を大切にす  
ライフスタイルの確立や地域づくり」に取り組む  
ことにつながる未来指向型の資料館をめざしています。

### 展示室

音の響らし、被害の発生から現在までの動きを時間の流れに沿って紹介します。

### イタイタイ病出来事年表

メッセージコーナー  
年表でイタイタイ病の歴史をふり返りながら、展示で感じたことをメッセージとして残します。

### ⑥環境・エネルギー―先臨県の

実現をめざして  
環境と健康を大切にす  
る環境と健康を大切にす  
る環境と健康を大切にす  
る環境と健康を大切にす  
る環境と健康を大切にす

### エントランス

床面の水系図や神通川の大型イメージ写真で皆さんを展示室へ誘います。



### ①神通川とともにあった響らしの原風景



かつて神通川流域で川の水を利用して生活していた頃の暮らしをふり返ります。

### ②イタイタイ病の発生と被害の実態



稲の生育不良などの異変、原因不明の病気がかかった患者や家族の苦しみがたどり着きます。

### ③原因究明、健康と暮らしを守る動き



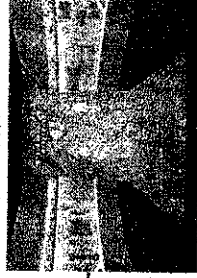
原因究明、被害住民による裁判から原因企業との取決めに至る歴史を紹介し

### ④流域住民の健康を守り、患者を救う



患者認定の流れや条件、流域住民の健康調査の実施状況等をわかりやすく伝えます。

### ⑤美しい水と大地を 取り戻してきた 環境被害対策



汚染された神通川や農地を元の美しい空に戻してきた努力や成果などを紹介します。



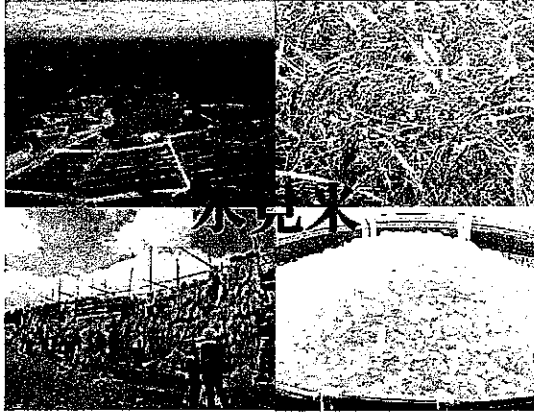


## 氷見市の概要

【市の概要】

- ・位 置：東経136度59分 北緯36度51分
- ・面 積：230.56平方キロメートル
- ・人 口：50,303人（H27.4.1）
- ・世 帯：17,668世帯（H27.4.1）
- ・主な産業：農業、漁業

## 氷見市の産業(農業)



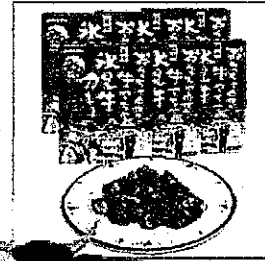
## 氷見市の産業(農業)

氷見牛コロッケ

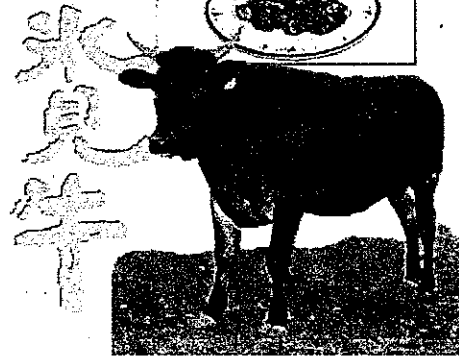


氷見牛ハトムギ入コロッケ & 氷見牛コロッケセット

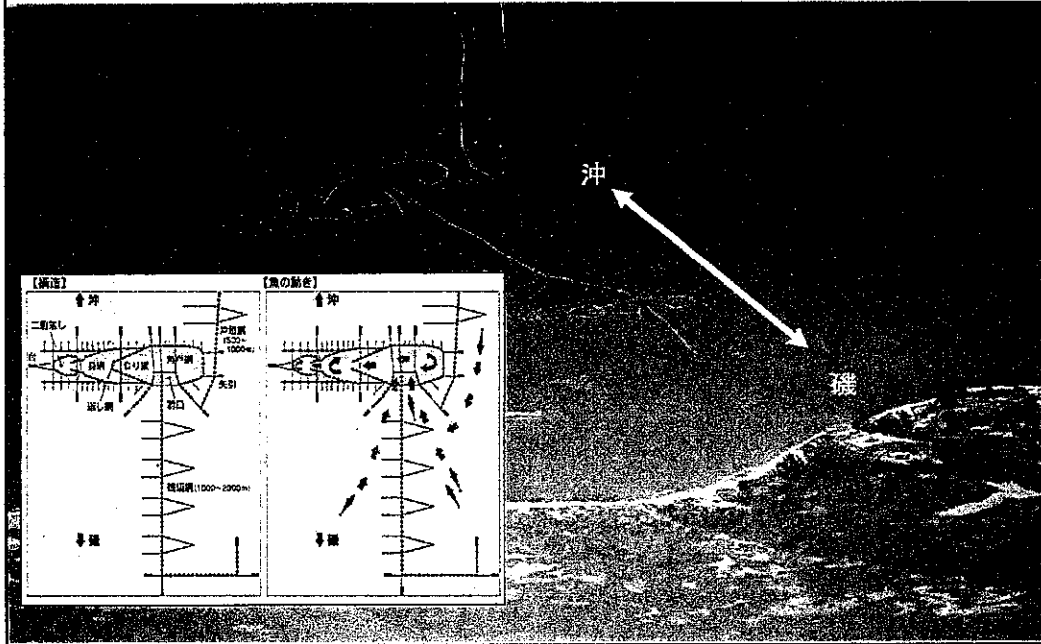
氷見牛カレー



氷見牛



## 氷見市の産業(漁業)



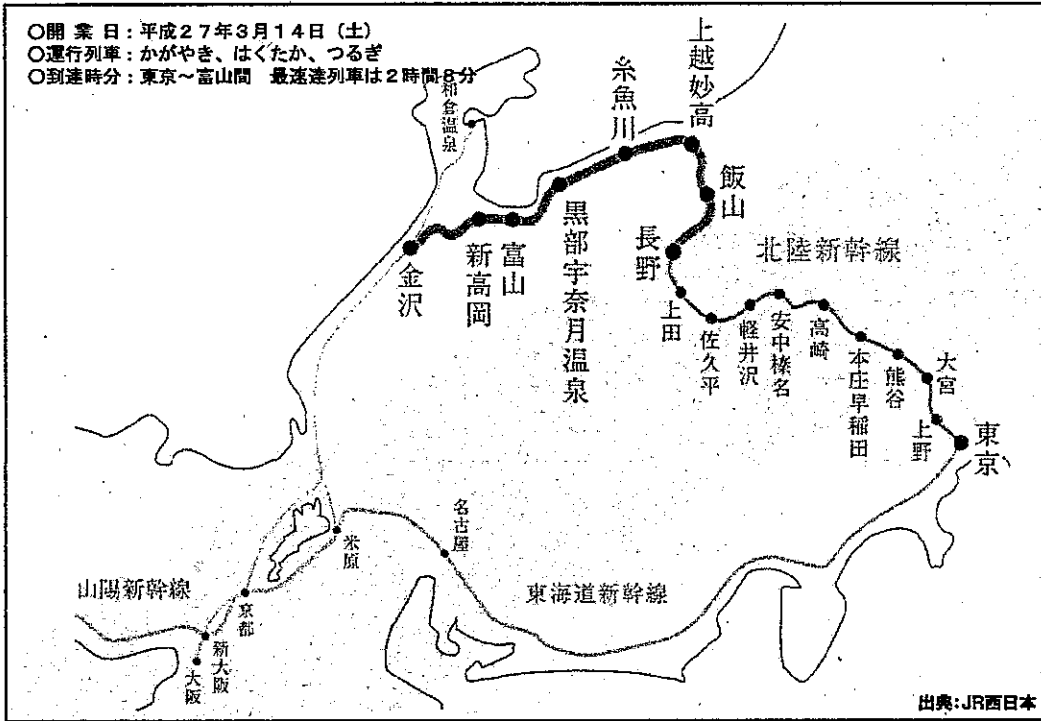
## 氷見市の産業(漁業)

### 『ひみ寒ぶり』のブランド化

氷見漁業協同組合では、食品偽装問題などから氷見の寒ブリへの信用を守るため、平成23年から氷見の寒ぶりの名称を『ひみ寒ぶり』に統一し、1本1本に“販売証明書”がつけられ、統一デザインの青い魚箱に入れて出荷されるようになりました。

また、毎年『ひみ寒ぶり宣言』を行い、開始宣言から終了宣言までの間に獲れた寒ブリだけを『ひみ寒ぶり』と認定しています。





### 北陸新幹線開業 陸海空のインフラ整備

## 3月14日『北陸新幹線』開業

#### 列車名

|         |      |                         |
|---------|------|-------------------------|
| 速タイプ    | かがやき | 東京～金沢 10往復              |
| 特車タイプ   | はくたか | 東京～金沢 14往復<br>長野～金沢 1往復 |
| シャトルタイプ | つるぎ  | 高山～金沢 18往復              |

- 所要時間の短縮(富山～東京間)

|         |        |       |
|---------|--------|-------|
| 開業前(平均) | 1時間余削減 | 開業後   |
| 3時間26分  |        | 2時間8分 |

富山～新大阪 3時間15分  
 (金沢開業時) → 3時間10分【約5分短縮】  
 (敦賀開業時) → 2時間30分【約45分短縮】  
 (新大阪開業時) → 1時間20分【約115分短縮】

- 年間輸送能力(座席数)の大幅増

|        |      |             |           |
|--------|------|-------------|-----------|
| 開業前    | (往復) | 12両編成(934名) | 開業後       |
| 約600万席 | 約3倍  |             | 約1870万席+α |

- 富山のお土産売上状況

幸のこわけ  
 H23:29百万円→H26:1.1億円  
 [H27.3～6 対前年約2.3倍の売上]

べつばら富山  
 1年4月間で売上累計1億円超

幸のこわけ(28品目)

べつばら富山  
(サクラスーツ、イチゴとゴマのサブ)

- 乗車人員

| 乗車人員     | 1日当り平均乗車人数 | 対前年比(%)    |
|----------|------------|------------|
| 開業日～8/20 | 420万人      | 2.6万人 306% |

- 乗車率(開業～6/30)

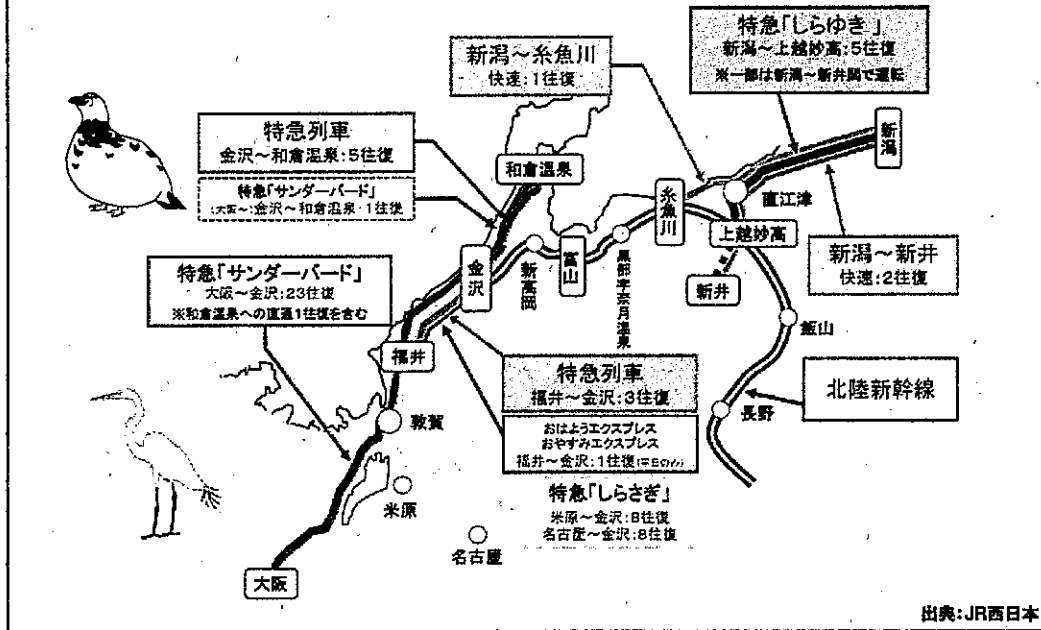
|          |          |            |
|----------|----------|------------|
| かがやき=53% | はくたか=42% | グランクラス=62% |
|----------|----------|------------|

- 富山～羽田便の状況(北陸新幹線開業後)

- 冬季も6便体制を維持(機材は小型化)
- 運賃を大幅割引  
(例: 特別運賃11,000円～16,700円) ※ 前日まで予約可
- 利用者は約4割、収入は約6割減少(前年比)

出典：富山県

北陸新幹線長野～金沢開業時の特急・快速列車について 別紙



富山県の観光の課題①

### 観光資源の評価

満足度の高い観光地ベスト30のうち3箇所が富山県  
(日経「サーゲ」地域ブランド戦略レポート(2010) 全国約2万人にネット調査)

| 順位 | 都道府県    | 箇所数 |
|----|---------|-----|
| 1位 | 北海道     | 5箇所 |
| 2位 | 沖縄県・長野県 | 4箇所 |
| 3位 | 富山県・岐阜県 | 3箇所 |

23位 黒部峡谷  
24位 立山黒部  
24位 五箇山

### 富山県内での消費と滞在時間

宿泊旅行1回あたりにかかった費用

| 項目     | 富山県     | 全国      |
|--------|---------|---------|
| 宿泊費+交通 | 30,700円 | 32,800円 |
| 現地小遣い  | 13,500円 | 16,400円 |

現地消費金額に2,900円の差!  
2014:2,700円  
2013:3,900円

現地滞在時間に1時間31分の差!  
2014:46分  
2013:1時間8分

### 観光客に大満足してもらい滞在時間・消費金額を伸ばす

出典:じゃらん宿泊旅行調査2015

平均のIN/OUT時間

|      | 到着時間  | 出発時間  |
|------|-------|-------|
| 富山県  | 15:49 | 11:59 |
| 全国平均 | 14:52 | 12:33 |

滞在時間差 0:57 0:34

あと3~4,000円分あと1~2時間分  
魅力的な観光商品・サービス・土産等を  
3,000円UPなら県全体で86億円UP!

### テーマ別 都道府県の魅力度

出典:じゃらん宿泊旅行調査

| 魅力                  | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 |
|---------------------|-------|-------|-------|-------|
| 地元ならではのおいしい食べ物が多かった | 19位   | 10位   | 8位    | 3位    |
| 魅力ある特産品や土産物が多かった    | 17位   | 7位    | 6位    | 8位    |
| 地元の人のホスピタリティを感じた    | 38位   | 21位   | 34位   | 15位   |
| 魅力的な宿泊施設が多かった       | 43位   | 29位   | 34位   | 27位   |
| 総合的な満足度             | 38位   | 24位   | 30位   | 9位    |

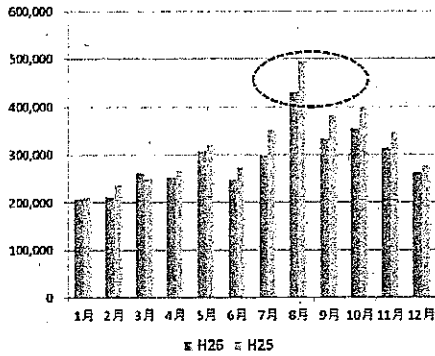
リピーター増  
選ばれ続ける観光地  
出典:富山県

## 富山県の観光の課題② 宿泊者数

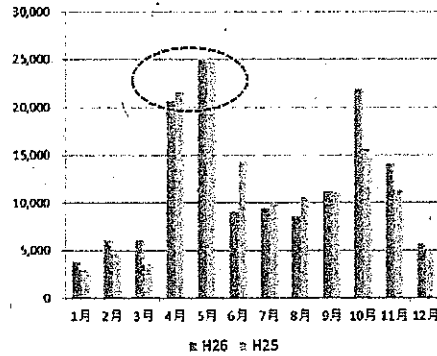


- 旅行者全体では「夏」の宿泊が多く、うち外国人旅行者は「春」の宿泊者数が多い。
- 旅行者全体に、冬季の宿泊者数が少ない。

延べ宿泊者数（月別）



外国人延べ宿泊者数（月別）



出典：観光庁 平成26・26年宿泊旅行統計調査

出典：富山県

## 富山県の観光の課題③ 宿泊施設



- 都市型ホテルの年間稼働率は70.6%。
- 冬の客室稼働率が低い。
- 海外からの団体ツアーの需要が高いツインルームの数が少ない。

宿泊施設数

出典：厚生労働省衛生行政報告例

富山県 476(ホテル 93、旅館 383)  
 <参考>石川県 804(ホテル121、旅館683)

客室数

○客室数 11,941室、収容人数 30,900人  
 (出典：観光庁 宿泊旅行統計調査)

○県内主要ホテル旅館 49施設  
 客室数合計 5,492  
 (シングル2,397、ダブル453、ツイン1,387)  
 ※ツインルームを20室以上持つホテル・旅館は県内に18施設のみ

タイプ別宿泊施設の状況

|      | シティホテル | ビジネスホテル | リゾートホテル | 旅館     | 簡易宿所  | 会社・団体の宿泊所 | その他(不明) | 計      |
|------|--------|---------|---------|--------|-------|-----------|---------|--------|
| 施設数  | 8      | 50      | 16      | 150    | 36    | 12        | 81      | 353    |
| 客室数  | 910    | 5,538   | 786     | 2,954  | 541   | 151       | 1,061   | 11,941 |
| 収容人数 | 1,367  | 7,335   | 2,497   | 13,355 | 3,108 | 797       | 2,441   | 30,900 |

四半期ごとの客室稼働率の推計値

出典：観光庁 平成25年宿泊旅行統計調査

|           | 1Q   | 2Q   | 3Q   | 4Q   | 年間   |
|-----------|------|------|------|------|------|
| リゾートホテル   | 16.1 | 43.7 | 52.9 | 44.1 | 39.2 |
| ビジネスホテル   | 51.1 | 57.9 | 75.3 | 60.3 | 61.2 |
| シティホテル    | 66.0 | 72.8 | 77.8 | 70.9 | 71.9 |
| 旅館        | 25.4 | 28.6 | 36.8 | 34.3 | 31.3 |
| ホテル・旅館 全体 | 39.7 | 50.8 | 60.7 | 52.4 | 50.9 |

出典：富山県

# 観光こそ 地産地消!

## 宿泊旅行の目的

宿泊旅行の目的調査(じゃらん宿泊旅行調査)

| 順位 | 宿泊旅行時の目的       | 2015  |
|----|----------------|-------|
| 富山 | 1位 地元の良いものを食べる | 41.7% |
|    | 2位 温泉や露天風呂     | 41.2% |
|    | 3位 名所・旧跡の観光    | 37.4% |
| 全国 | 1位 地元の良いものを食べる | 35.5% |
|    | 2位 温泉や露天風呂     | 33.2% |
|    | 3位 富でのんびり過ごす   | 30.3% |

## 全国どこでも同じ

- 東京から仕入れた冷凍食材
- や冷凍刺身の会席料理
- 季節感のない食材

ではなく

地元ならではの料理や旬の食材が求められている



県内58の店舗で提供



県内8の飲食店で提供

## 団体→個人旅行化

地元ならではの旬の食材を味わう旅のニーズ拡大

## とやま観光未来創造塾

### 食のおもてなし専攻を設置

- 食のおもてなし力の向上
- 食材・料理の説明力アップ
- 食の魅力の高付加価値化(地元食材の活用)の実践



県内41のホテル旅館で提供

## 地産地消

地元の農林水産品を使った旬のメニュー

## 食のブランド化

富山ならではの食材・伝統料理  
富山の食の高付加価値化

観光地の魅力の向上

地域経済が回る!

地域の農林水産業  
食品産業の発展

【庄川温泉郷の旅館の例】  
「とやまの美味しい朝ごはん」のメニューに  
温泉水を使って栽培した庄川温泉野菜を使用

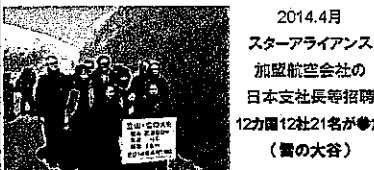
出典:富山県

# 国際観光の推進

## これまでの取組み

東アジアや東南アジア等において、観光説明会の開催、広告宣伝、招聘事業などを推進

2014.4月  
台湾旅行会社招聘  
5社5名が参加  
(五箇山村産合掌屋敷)



2014.4月  
スターアライアンス  
加盟航空会社の  
日本支社長等招聘  
12カ国12社21名が参加  
(雪の大谷)



2015.1月~2月  
スキーツアー  
立山山麓スキー場  
等4家店

## 立山黒部7バザールの外国人団体観光客数

|        | H15(2003) | H23(2011) | H24(2012) | H25(2013) | H26(2014) (前年比) |
|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------------|
| 総数     | 23,731人   | 54,357人   | 88,964人   | 145,314人  | 170,838人(118%)  |
| 台湾     | 20,242人   | 45,942人   | 65,398人   | 105,613人  | 125,872人(119%)  |
| 韓国     | 2,874人    | 3,119人    | 7,278人    | 10,488人   | 9,156人(87%)     |
| 中国     | 35人       | 309人      | 406人      | 347人      | 532人(153%)      |
| 香港     | 133人      | 3,669人    | 7,900人    | 15,408人   | 13,604人(88%)    |
| タイ     | 189人      | 727人      | 4,633人    | 8,122人    | 12,544人(154%)   |
| シンガポール | 0人        | 200人      | 1,100人    | 1,500人    | 2,281人(148%)    |
| インドネシア | 0人        | 100人      | 1,400人    | 2,800人    | 4,121人(148%)    |
| マレーシア  | 0人        | 100人      | 600人      | 600人      | 1,816人(293%)    |

近年、タイやインドネシアなど東南アジアから増加

台湾から585名参加  
(毎週2便利用で来県)

2016.1~3月  
富山・台北便 毎週4便に

出典:富山県

## 旅行会社への働きかけの成果①



### 1 旅行会社パンフレットの表紙に「富山」が掲載

平成24年度 下半期  
(2012.10~2013.3)



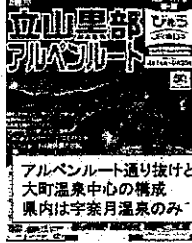
平成27年度  
上半期  
(2015.3~9)



「富山」が追加!

### 2 旅行会社パンフレットで「富山」が格段に充実

(働きかけ前)



アルペンルート通り抜けと大町温泉中心の構成  
県内は宇奈月温泉のみ

(平成25,26年度の夏限定)

富山県×JR東日本タイアップ旅行商品  
立山登山・トッキング  
+下山後の県内観光を提案



(今春)

JR東日本びゅうが、富山とのタイアップ商品を自社商品として展開!



## 旅行会社への働きかけの成果②



～ 富山県を取り上げたパンフレットが続々と造成 ～

JTB



(2014.12~2015.3) 三大都市圏発 富山をベースにした周遊観光の提案(2015.3~9)

近畿日本ツーリスト



(2014.12~2015.3) (2015.3~9)

日本旅行



(2015.4~9) (2015.4~9)

JR東日本びゅう

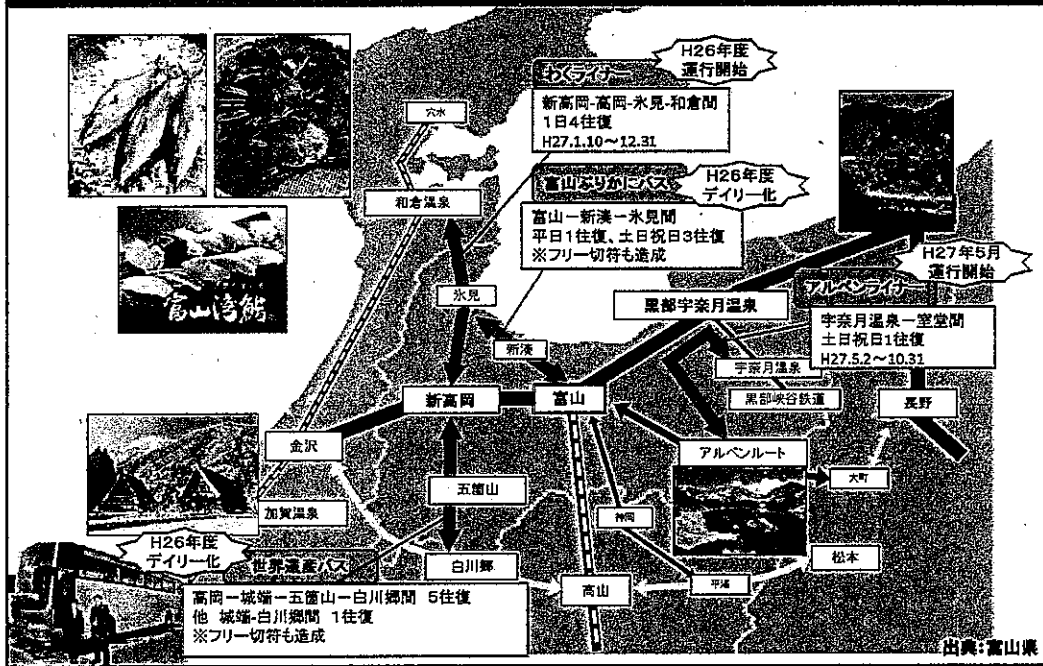


北陸新幹線の開業に合わせて、首都圏・南東北・長野発の旅行商品を充実(2015.4~9)

出典:富山県

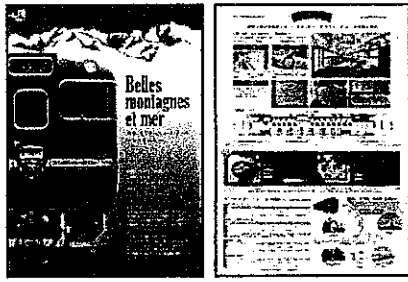


## 新幹線駅からの二次交通（観光路線バス）の整備



## 公共交通等を活用した周遊プラン等

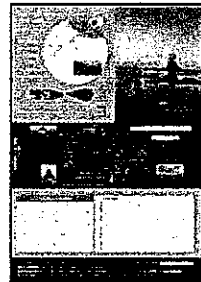
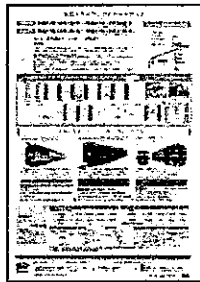
北陸DCに合わせて運行したコンセプト列車



二次交通を活用した観光商品



公共交通等も活用した周遊プラン



北陸デスティネーションキャンペーンの取組みについて



<北陸デスティネーションキャンペーン>

●キャッチフレーズ「Japanese Beauty Hokuriku」～日本の美は北陸にあり～

- 北陸DC実行委員会
- 北陸3県、JR西日本
- 北陸経済連合会

平成26年度

「全国宣伝販促促進会議 (H26.10.15~17)」を富山県で開催

北陸観光の魅力を発信 → 旅行商品の企画・販売強化

主催：旅行会社・JTBグループ(6社2名)、報道・地元関係者等(240名)、計約72名

平成27年度

「北陸デスティネーションキャンペーン」開催 (10月~12月)

北陸DC実行委員会の取組み

「美観」「美食」「美技」「美湯」「美心」の5つの美をテーマに、北陸3県の観光の魅力、JR主要駅(約1,000箇所)でのポスター掲出、ガイドブックの配布等により、全国に発信



JR駅等による宣伝展開

- 北陸DCガイドブック(80万部)の発行
- 5つの美をテーマにした北陸DCポスターの掲出
- 仲間由紀恵さんを用いたDCポスターの掲出
- 百永小百合さん出演のテレビCMの放映 など

富山県の取組み

○販売促進会議で提案した素材を、旅行会社が旅行商品化

⇒ 異なる旅行商品の充実と連携PR

宿泊施設とあわせ、「着地型旅行商品」や「観光情報」・おわらなど伝統芸能と最新の映像技術が融合したイベント

DC用商品が續々と販売開始!

○「社の賑い・富山」開催

・JTBグループと連携し、北陸DCに併せて開催

(10/4、オーパード・ホール)



出典：富山県

「富山で休もう。」キャンペーン推進協議会の取組み



「富山で休もう。」キャンペーン推進協議会

(事務局 県観光連盟 設立 H26.5.9)

【構成団体】 富山県、市町村、県観光連盟

《役割》

旅行者の受入体制の整備をはかり、満足度を高め、「選ばれ続ける観光地」づくりを推進

「富山で休もう。」キャンペーン (27年9月~12月)

1 趣旨

秋の富山旅行の魅力のアピール。特別企画等により、旅行社に富山の楽しみ方を提案する「富山で休もう。」キャンペーン。9月1日から実施。

2 主な内容

- 大手宿泊予約サイトにおける割引販売(県で実施)
  - ・最大50%割引、割引上限額2万円
- 郵便局の連携
  - ・特別消印の押印、「富山海鮮」切手セットの発売
- 富山のクラフトの魅力発信「手ざわりの秋2015」
  - ・井波彫刻を体感する特別ツアーなど6つツアー、イベントの紹介等
- ペア宿泊券等キャンペーンプレゼント 等



旅行者に対する「おもてなし」の促進

「休んでかれ。」宣言

登録事業所1,557件 (H27.8末現在)

1 趣旨

来訪者に「また来たい!」と感じてもらえるよう、各事業者が自ら取り組むおもてなしを宣言し、お客様を温かくお迎えする。

2 取組

- (1)宣言の登録募集
- (2)宣言の普及啓発
  - 「休んでかれ新聞」送付
  - WEBサイト
  - ハンドブック・バッジ等配布
  - おもてなしの取組み支援 等



「おもてなし」は笑顔

「休んでかれ。」宣言登録事業者の取組み例



□ エムダイヤ

・ビジネスパートナーに「おもてなしプラン」と題したオリジナル旅程表を作成。  
・県内観光地や食事処を紹介・案内。

研修会等

- ホテルフロント担当者向け研修会
- バスガイド研修

出典：富山県

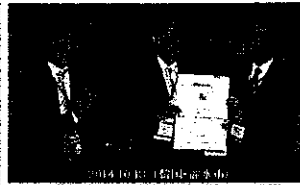
# 「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟



「世界で最も美しい湾クラブ」

- ・38湾(24カ国と1地域)が加盟(1997年設立)
- ・モルビアン(フランス)に本部を置くユネスコが支援する非政府組織

2014年10月に富山湾の加盟が全会一致で承認



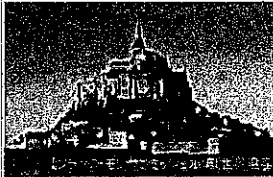
2014.10.13(富山)富山湾  
石井知事がクラブ総会で加盟証書と受領

## 「世界で最も美しい富山湾」の保全・活用

延長約8.8km(氷見市阿尾～越中宮崎駅)

- 湾岸サイクリングコースやカフェ等の開設
- タモリカップなどマリンスポーツの振興
- 外航クルーズ客船の誘致
- マリーナ施設の拡充、船舶オーナーの誘致
- 藻場保全・造成、稚魚放流、海岸等の美化
- 「全国豊かな海づくり大会」(15.10.24～25)
- 県民参加による森づくり
- 「全国植樹祭」(17春頃)
- 「富山マラソン2015」の開催(15.11.1)

## 「クラブ加盟湾」



出典:富山県

# 新ゴールデン・ルートの形成



2015.3.14  
北陸新幹線開業



立山黒部アルペンルート

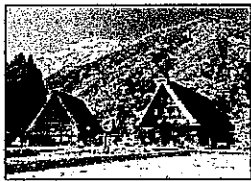
## 【北陸(富山)⇄首都圏】

618(213)万人

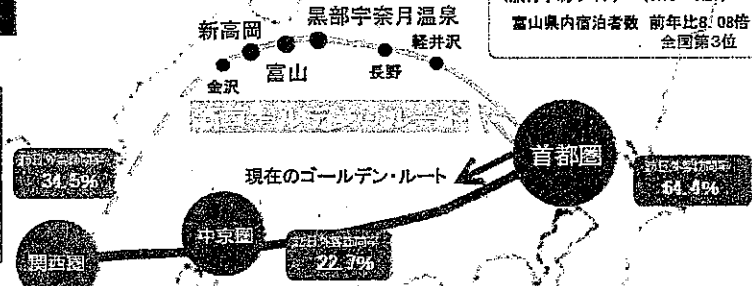
- ・北陸(富山)→首都圏 308(106)万人
- ・首都圏→北陸(富山) 310(107)万人

○楽天トラベル 夏(7.15～8.31)  
富山県内宿泊者数 前年比1.91倍  
(ネット予約ベース) 全国第1位

○じゃらん シルバーウィーク  
(旅行予約サイト) (9.19～9.27)  
富山県内宿泊者数 前年比8.08倍  
全国第3位



世界遺産五箇山合掌造り集落



## 【首都圏⇄中京+関西圏】

11,708万人

- ・首都圏→中京+関西 5,936万人
- ・中京+関西→首都圏 5,902万人

## 【首都圏⇄関西】 【首都圏⇄中京圏】

5,134万人

- ・首都圏→関西 2,580万人
- ・関西→首都圏 2,604万人

6,574万人

- ・首都圏→中京圏 3,276万人
- ・中京圏→首都圏 3,298万人

【首都圏】 東京・埼玉・千葉・神奈川  
【中京圏】 静岡・愛知・三重  
【関西圏】 大阪・京都・兵庫・奈良

出典:富山県

## ■平成27年度 観光戦略の基本的な考え方と方向性

新幹線開業により北陸に注目が集まり、旅行者の増加、また観光情報の検索頻度が高まると考えられます。氷見市としては次の取り組みを重点的に行い、攻めと守りの両面で対策を講じていきます。

### 攻める

1. 新幹線沿線都市での観光PR
2. テレビや新聞、雑誌による情報発信
3. SNSなどソーシャルメディアによる情報拡散
4. 観光ウェブサイトの一新
5. プロモーションムービーの制作
6. 新パンフレット、ポスターの活用
7. 旅行商品の造成
8. モニターツアーの実施
9. コンベンション、教育旅行の誘致

1. 体験プラン、着地型旅行商品の整備
2. バスやレンタカー客への地元サービス
3. 食の魅力に触れるイベントの開催
4. まんがロードの魅力アップ
5. おもてなしの向上
6. 観光案内所の機能向上

### 受け皿

北陸新幹線開業を迎え、好機と変化を予測しながら、戦略的発想を待って柔軟でスピード感のある観光施策を展開していく。

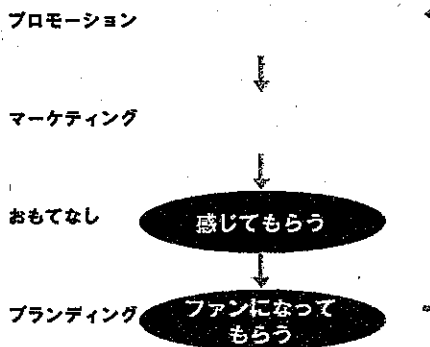
- ① 情報発信の強化と検索の受け皿づくりを進める。
  - ・ 情報発信では、北陸新幹線沿線の主要都市に向けて積極的な観光PRを展開する。
  - ・ 情報づくりでは、観光ウェブサイト「きときとひみとことこのみ」の一新、プロモーションムービーの制作、新パンフレット・ポスターの活用を行う。
  - ・ これらにより、見るものに行ってみたいと思わせる演出と、グッとくる状況を作り出す。
- ② 氷見の魅力を体験できる受け皿づくりを進める。
  - ・ 旅の感動づくりでは、印象に残る体験プランの用意、食の魅力に触れる「ひみまぐろグルメ館」の拡充開催、まんがロードの魅力アップなどを行う。
  - ・ 旅の快適さづくりでは、おもてなし研修による接客力の向上、バスなどの2次交通の整備、Wi-Fiやカード決済の推進などを行う。
  - ・ これらにより、旅先としての価値を上げ、氷見ファンづくりを進めていく。

## 魚食文化をリードする氷見

氷見の地で長年培われた漁師町の風土、文化をベースにしながら、日本を代表する「魚食文化」の担い手として、将来に向けて魚食を進化させていく。本当においしい魚がある町、一度は訪ねたい町になる。

- これからのターゲット像
  - ・ 本物の魚のおいしさを知らない人
  - ・ おいしいものに対する感覚が高い人
  - ・ 自分の体験をワンランク上げたい人
- 未来の姿
  - ・ ローカルな魅力とグローバルでスタイリッシュな感覚が融合した町
  - ・ 本物のおいしさに出会い価値観が変わる町
  - ・ どこよりも魚を楽しんでいる町
  - ・ 生きていることを実感する町
  - ・ 若者や子供が楽しめる町

### 観光地振興の施策フロー



- ① 不備改善型の事業・・・観光Webサイト制作、プロモーション映像制作、旅行商品の整備
- ② 未来投資型の事業・・・地域ブランディング、顧客分析・動向調査、おもてなしの向上、観光プラットフォーム



・氷見への交通アクセスは便利とは言えない状況である。



・北陸新幹線開業後は高岡からのアクセスがさらに不便になる。(新幹線と氷見線が接続しない)  
 ・新幹線開業および能越道七尾直通化にともないレンタカーを始め自動車での流動が増加すると考えられる。  
 ・一方、能越道の開通により氷見が通過地となる懸念が大きい。



・新高岡駅から氷見への2次交通の確保が課題である。  
 ・自動車利用客を氷見へ誘導するための施策が必要である。  
 ・氷見市単独ではなく、近隣の自治体またレンタカー会社やJR、航空会社との連携が必要である。

### アクセス環境の向上と動機付けによる氷見への誘導



#### 交通機関との連携によるアクセスの活性化

##### ①新高岡～氷見間の定期観光バスへの運行支援

- ・コースに漁業交流施設「魚々座」を入れる
- ・最少催行人数を2名に設定し、少人数から利用しやすくする

##### ②自動車利用客を呼び込むための対策事業

- ・レンタカー会社とのタイアップキャンペーンや利用者への特典
- ・近隣市町村との連携による広域周遊MAP等の作成等

(予算内容)

- 新高岡駅～氷見定期観光バスへの運航助成他(360千円)
- レンタカー等利用者誘致促進費(1,000千円)



・アクセスの選択肢が広がる ・新幹線停車駅から氷見への誘客 ・広域連携の促進」

### 北陸新幹線開業後の氷見までの主な2次交通

| 路線         | 乗降駅         | 乗降駅   | 乗降駅        | 乗降駅  | 乗降駅 | 所要時間   | 運賃            | 運行日            | 備考    |
|------------|-------------|-------|------------|------|-----|--------|---------------|----------------|-------|
| JR氷見線      | 新高岡駅        | JR氷見駅 | 路線各駅       | 旅客鉄道 |     | 30分    | 320円          | 毎日             | JR西日本 |
| 富山ぶりにバス    | 富山駅前        | ひみ番屋街 | 新湊きつぎと市場   | 路線バス |     | 1時間26分 | 1,000円        | 毎日(平日)往復、休日3往復 | 富山地铁  |
| わくライナー     | 新高岡駅<br>高岡駅 | 和倉温泉  | ひみ番屋街      | 路線バス |     | 1時間44分 | 氷見まで500円      | 土・日・祝日         | 加越能バス |
| 高岡～氷見ツアーバス | 新高岡駅<br>高岡駅 | ひみ番屋街 | 瑞龍寺<br>魚々座 | 貸切バス |     | 約3時間   | 3,000円<br>観光付 | 土・日・祝日         | 西部観光  |

#### 運行費助成の理由

1. 新幹線開業後、新高岡駅と氷見を結ぶ2次交通である。
2. 氷見を目的地としたものである。
3. 国室瑞龍寺の見学と氷見の食事をセットし、北陸旅行の入門編としてわかりやすいパッケージである。
4. 漁業交流施設「魚々座」に停車する。
5. 助成により最少催行人員を2名にでき個人のお客様が利用しやすくなる。
6. (株)観光販売システムズを通して全国の旅行会社に販売する。
7. 着地型旅行商品販売サイト「VISIT富山県」に掲載。

●氷見市助成金 360,000円 (3,000円/1運行 × 120回/年)



自動車利用客を呼び込むための対策事業（1,000千円）  
 ・レンタカー会社とのタイアップキャンペーンや利用者への特典  
 ・近隣市町村との連携による広域周遊MAP等の作成等

北陸新幹線開業に伴い、停車駅からのレンタカー利用が増加すると予測されている。

日経トレンディが発表した「2015年ヒット予測ランキング」で3位にランクインしたのが「北陸トライアングル」と呼ぶ金沢～能登～富山を回るルート。加えて白川郷・高山のまで含めたルートが注目される。

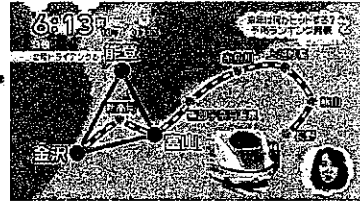
能越道七尾延伸の開通は周遊を促進するとともに、一方では氷見が通過地となる危険性が十分にある。

増加する自動車流動を氷見に呼び込むための対策を近隣自治体の協力も得ながらレンタカー会社等に営業を行っていく。

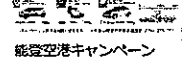
1. 連携を想定する近隣自治体（七尾市、羽咋市、高岡市、南砺市）
2. 営業を予定するレンタカー会社
  - ・新高岡駅（オックスレンタカー、ニッポンレンタカー名鉄、他）
  - ・黒部宇奈月温泉駅（トヨタレンタリース、日産レンタカー、他）
  - ・富山駅前と金沢駅前のレンタカー会社
3. 告知媒体（西ナビ、トランベール、るるぶFREE金沢、るるぶFREE富山など）

北陸トライアングルMAPの作成

- ・「世界で一番の海を走る」（世界でひとつだけ千里浜なぎさドライブウェイ、世界で最も美しい湾クラブの氷見海岸）
- ・ビューポイント（夕日の千里浜 VS 朝日の氷見海岸）、人気の直売所
- ・おすすめランチ（割引クーポン）



日経トレンディ  
2015年ヒット予測  
ランキング3位



能登空港キャンペーン



青森県&ANA



・氷見の観光プロモーションムービーがない。



・撮影機材の小型化、またSNSの進展により誰でもCMを容易に作成しWeb上で発信ができるようになった。  
 ・トレーニングチャンネルや街頭ビジョン、Youtuberなどの出現により動画の影響が高くなっている。  
 ・映像は玉石混濁の時代。高度のCGが、ドキュメンタリー映像が好まれる。



・氷見のPVがなく、観光プロモーション時に困ることが多い  
 ・映像は一般的に制作費が高く、また交通広告も莫大な広告費がかかる。テレビCMは言うまでもない。  
 ・全国で観光ビデオが氾濫している。イメージビデオでは旅行につながりにくい。

安価でありながら広く長く活用できる動画の制作



氷見の魅力を伝える動画と画像を蓄積しプロモーションに活用する

①「ひまの日々」人々の暮らしの物語ムービー制作

・平成27年度は、民宿等の料理人、女将が語る自店のこだわりや日常を映像化し、氷見の魅力をあぶり出す。

②観光画像アーカイブ

・アマチュア写真家を中心に写真を募りライブラリー化する。不足のものは撮影下ろす。

（予算内容）

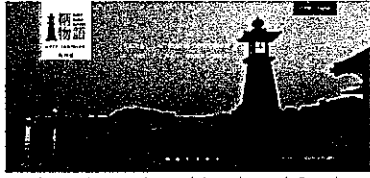
- 氷見のプロモーションムービー制作費(3,000千円)
- 氷見の写真収集アーカイブ費(500千円)



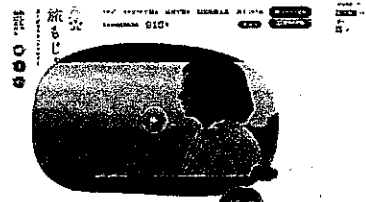
・認知度の向上 ・パブリシティ効果 ・サービスの向上 ・おもてなしの気運醸成

氷見のプロモーションビデオ (イメージ)

氷見に暮らす人々の日常を描き、見るものがその場で会話をしているような感覚を生じさせる演出。音や匂い、温度を感じながら旅のイメージを膨らませていく。



氷見の魅力を伝えるプロモーションビデオの制作にあたり、地元の人々の生活や文化を深く掘り下げ、その魅力を伝えることが目的です。



氷見の魅力を伝えるプロモーションビデオの制作にあたり、地元の人々の生活や文化を深く掘り下げ、その魅力を伝えることが目的です。



氷見の魅力を伝えるプロモーションビデオの制作にあたり、地元の人々の生活や文化を深く掘り下げ、その魅力を伝えることが目的です。

平成27年度は「民宿・旅館」の人々を描く

宿泊総合サイト「氷見味わいの宿」は、外観写真と施設のスペックだけが並んでいる。高度成長期、宿泊旅行そのものがハシであった時代の名残りであり、家電製品売り場と同じ。国内も海外も十分に旅行を経験した都市生活者には響かない。料理写真が同じように並んでいるものもため、どれも同じに見える。

「民宿」という業態の個性を出すこと。トイレなど不利な面を明示しながらも「氷見の民宿」らしい独自性を言葉で伝えなければならぬ。主人の料理にかけるこだわり、民宿流の女将のおもてなし。「刺身もいいが、うちは干物が自慢だ」「毎日契約農家から野菜を仕入れている」「ご飯にはこだわる」「鍋が得意だ」「活けてある山野草は女将が野山で取ってきている」「宴席で氷見の民謡を聴かせられる」「田舎臭いと書かれてもうちはやっぱ舟盛りが売りが」

亭主の思いをひとつひとつ丁寧に伝えることから個性の違いが見え、お客様も選り好みが出てくる。紙媒体では情報に限界がある。短編ムービーだからこそ伝えられる。

参考動画 「Road to Raw」 Cook it raw Ishikawa



Road to Raw - Dinner at the Ryokan



Road to Raw - Dinner at the Ryokan



Road to Raw - Dinner at the Ryokan



参考動画 Tokyo Down Town (墨田区観光協会)

- 平成27年度・・・民宿・旅館編
- 平成28年度・・・商店・生産者編
- 平成29年度・・・商店・生産者編2

平成27年度の制作内訳

■動画撮影

宿泊施設39軒(観光協会会員)が対象

収録内容

- ①料理(亭主のごたわり)
- ②ちてなし(女将の心配り)
- ③氷見の暮らしのことやエピソード

動画の長さ

一軒3分(基本)、出向宣伝用は一軒30秒

撮影機材

一眼レフカメラの動画モード

費用内訳

撮影費 @70,000円×40軒=2,800,000円(脚本・演出・編集込)

消耗品 小道具等 200,000円

料理代 (宿泊施設負担)

業者選定

- ・プロ、アマ問わず提案コンペ
- ・できれば小回りが利く地元業者が良い
- ・市民の中で、相応の技術がありやる気のある方が居れば、それも可。ただし担当職員との十分なバックアップが必要。

募集方法 広報ひみ、HP、一本釣り声掛け

※箇の雇用対策事業が使えるのであれば活用し専従である。振り方、脚本はプロが指導する

■氷見の写真 収集

氷見市内や近隣地区のアマチュアカメラマンが取り貯めた氷見を題材にした写真を、観光プロモーションに使用する目的で貸し出してもらう。原則無料借用だが、撮影者の要望がある場合は要検討。広報ひみで募集。

This section contains a grid of small video thumbnails and associated text. The thumbnails show various scenes, including people in traditional or local settings, food, and street scenes. The text snippets are small and difficult to read, but they appear to be captions or descriptions for the videos. The overall layout is dense and serves as a visual reference for the project's content.



# スギヨの食育活動

食品メーカーとしての地域貢献の取  
り組みについて



好き嫌いな子は  
いないかな？



イヤヨヤダー

## 1、スギヨ仮面とは？

食品会社として、食べ物大切さを知って  
もらうため、2011年から食育活動を開始。

好き嫌いをなくす  
ために毎日戦う  
ヒーロー！



スギヨ仮面



イヤヨヤダー

子供たちに  
好き嫌いをさせる  
悪い怪人！

# 1. スギヨ仮面とは？

- グッズ展開
  - ・クリアファイル
  - ・ストラップ

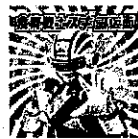


- アサヒ飲料「ご当地ヒーローダブルシールコレクション」キャンペーン 参加

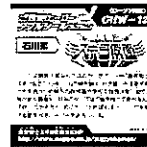
表1層目



表2層目

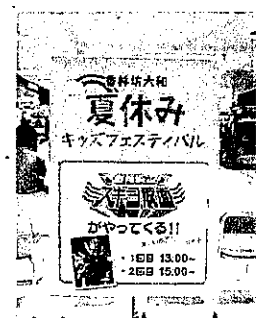
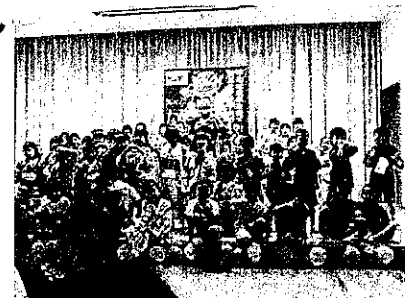


裏



## 2. 活動内容

- 工場見学  
年間3,000人の児童を受け入れ
- 教育機関  
保育園 小学校
- 地域のイベント、量販店の催事  
ちょうちん行列  
地元百貨店



## 2. 活動内容

### スギヨ飯面がおしえます！紙芝居



#### おいしいごはんも元気なからだ

イヤヨヤダーからの挑戦状を受け取ったスギヨ飯面。戦いのためにしっかりご飯を食べて準備万端！一方、勝利を確信しているイヤヨヤダーは余裕しゃくしゃくでお菓子ばかり食べています。さて、スギヨ飯面が戦いの場に向かうと…

元気な体を作るため、食べ物の3つの役割をわかりやすく伝えます。  
紙芝居後のミニクイズは子供に大人気！先生はどうせん全席正解ですよ？



#### たべものを大切にしよう

スギヨ飯面大ピンチ！イヤヨヤダーの「スキキライビーム」を浴びて、好き嫌いをするようになってしまったスギヨ飯面…。食育戦士のプライドを賭け、必死に苦手を克服しようとかんばります。イヤヨヤダーもその熱意に巻き込まれて…

食べ物の好き嫌いだけでなく、食事を作ってくれる人のこと、  
ちょっとした挨拶問題にも触れるお話です。



#### 大切にしよう！みんなのマナー

おおっと、今日のイヤヨヤダーは一隊者がいます。こうなったらスギヨ飯面の必殺技「カニカマフラッシュだっ！」えっ？ちょっと、イヤヨヤダー、ヒーローが必殺技を出すときは、待つてないで…

みんなが気持ちよく生活するためのマナー。  
ごはんを食べるときにも必要ですね。  
はずかしい大人にならないよう、食事の基本マナーを楽しくお話します。

### 食育冊子「おいしく食べよう ごはんのひみつ」(配布)

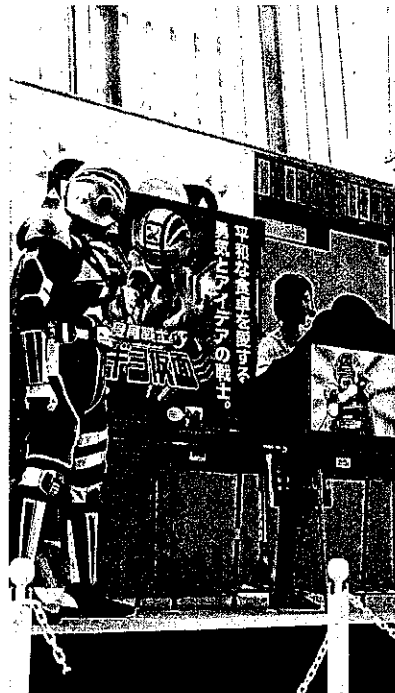
スギヨ飯面のマンガで、ごはんを作ってくれる人への感謝、朝ごはんの大切さを理解しよう。食事のマナーはできているかな？ちょっと注意して、今のうちに正しいマナーを身につけよう。五大栄養素を知って、バランスのよい食事を心がけよう。ちょっとむずかしいクイズもついているよ。



ページの中はこんな感じ！

ford

## 2. 活動内容



ステージ紙芝居



県内スーパーにて

## 2. 活動内容



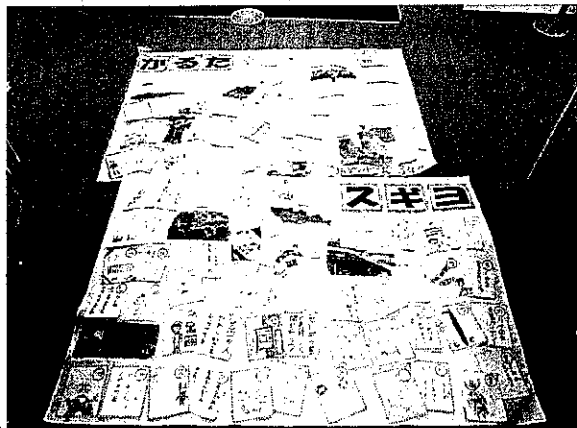
全国商工会議所女性連合会 金沢大会に参加  
人気は子供だけではない！



石川県のマスコット「ひやくまんさん」と

## 3. 食育活動の効果

訪問後、園からは「給食の食べ残しが減った」「苦手な食べ物にチャレンジする子供が増えた」と感想をいただいたり、子供たちから「頑張って苦手なものも食べる」などのお手紙をいただくこともあります。中には、食育カルタを作って送ってくださる学校もございました。



### 3、食育活動の効果


- 第9回食育推進大会に参加

2014年 長野県で開かれた内閣府主催の食育推進大会に参加。ブース出展と食育活動の発表を行いました。



■12:30~13:00  
『食育戦士スギヨ板面の食育』

○団体/株式会社スギヨ  
○概要/板面とオリジナルDVDの視聴を通して、子どもたちに食のありがたさと大切さを伝えます。  
予想外に本格的なヒーローの登場で、みんなびっくり!



### 4、社内貢献

- 新入社員研修

3年前から取り組み開始

愛社精神⇒定着率の増加

- モチベーションUP!

工場見学をした児童から御礼のお便りなどが沢山届きます。社内のラウンジなどに掲示することで、子供の明るいイラストに癒され、製造現場で働く社員のモチベーションUPにつなげています。



## 5、今後の活動目標



### ・認知度UP

- ・七尾の全教育機関に巡業。
- ・石川県代表として、県外の子供たちにも食の大切さを発信。

### ・歌、体操をプラス

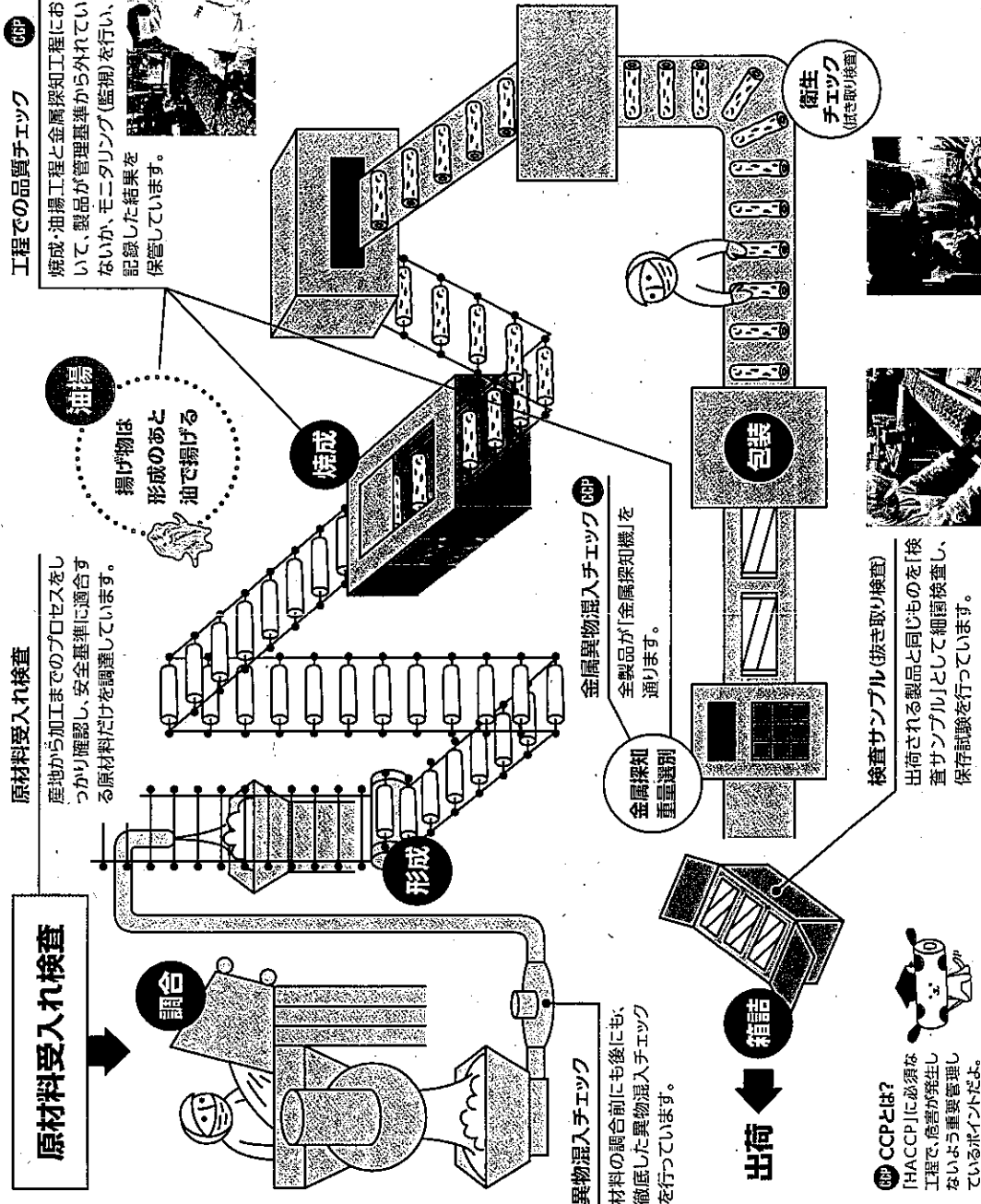
より小さなお子様にも理解していただくため、歌や体操を取り入れる。



# ビタミンちくわができるまで

## 国際標準の衛生管理工場です

北陸工場は、食品の原料の受け入れから製造・出荷までのすべての工程において、危害の発生を防止するための重要なポイントを継続して監視・記録する、総合的な衛生・品質管理を徹底しています。平成9年(1997年)には、業界の先駆けとして食品の衛生と安全管理において国際標準となっている「HACCP」工場に認定されました。平成11年(1999年)には、厚生省(現在の厚生労働省)「総合衛生管理製造過程承認施設」にも認定されています。



# Q&A

## スギヨ北陸工場

1995年に完成した北陸工場は、スギヨで一番大きな工場です。この建物の中では、約270人が働いています。

**Q** どんな製品をつくっているの?

**A** ちくわ、揚げ物のほか、おでんの具材などいろいろな製品をつくっています。



**Q** ちくわは1日に何本つくられているの?

**A** ひとつのラインで1時間に約1万本、1日に約30万本が生産されています。

**Q** 加賀場の野菜の鮮度はどのようにして保っているの?

**A** 野菜それぞれの風味を活かし、カット方法や保存温度などあらゆる工夫をしています。



**Q** ビタミンちくわに使われている変わった魚は?

**A** アブラザメが正解。工場の通路には、よく置かれています。



ヘルシー&ハッピー  
SUGIYO CO., LTD.

NANAO

能登半島

直接

# 北陸工場 ご案内

ヘルシー&ハッピー

おのり

要冷蔵

保健機能食品  
(栄養機能食品)

### 工場・事務所概要

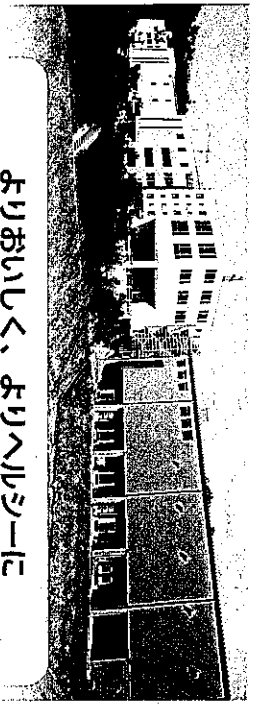
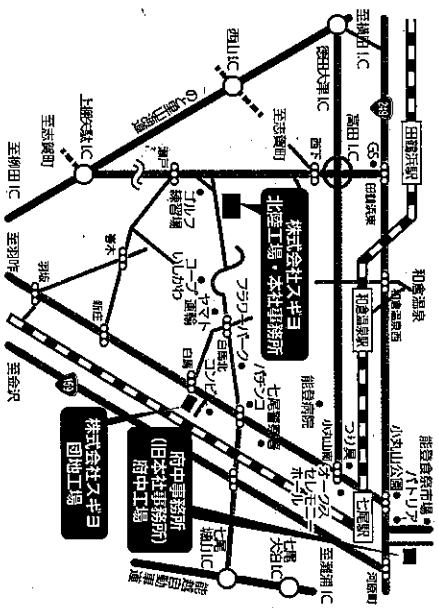
名 称 / 株式会社又ギヨ 北陸工場・本社事務所  
所在地 / 石川県七尾市西三階町10号4-1  
敷地面積 / 49,777m<sup>2</sup> (15,058坪)  
建築面積 / 7,734m<sup>2</sup> (2,340坪)  
延床面積 / 14,329m<sup>2</sup> (4,335坪)

ピロティ 機械設備(冷凍機/キュービクル)

- 1F 調合エリア/出荷エリア/冷凍工場/冷蔵冷蔵保管設備
- 2F 連絡通路
- 3F 揚げ物ライン/ちくわライン/本社事務所/研究・開発室
- 4F 検査室/ラウンジ/会議室

### 会社概要

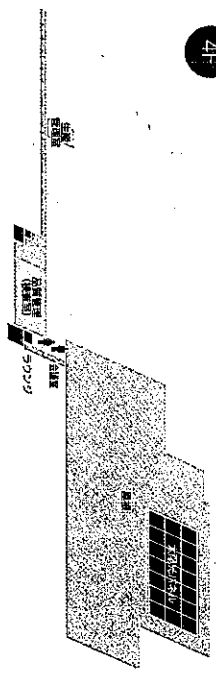
名 称 / 株式会社又ギヨ  
代表取締役社長 杉野哲也  
設 立 / 昭和37年1月  
所在地 / 石川県七尾市府中町員外27-1 TEL.0767-53-0180  
本社事務所 / 石川県七尾市西三階町10号4-1  
従業員数 / 640名



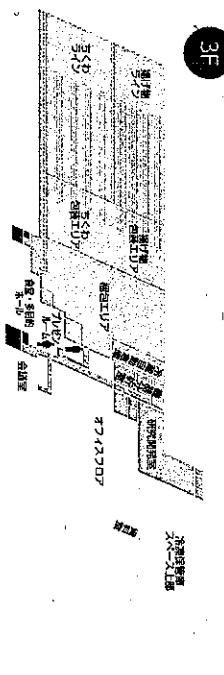
### よりおいしく、よりヘルシーに

常に新しい加工品を生み出す又ギヨの商品づくりは、柔軟な発想と確かな技術、そして充実した生産設備にあります。又ギヨはよりよい製品を送り出すために、徹底した省力化と効率化を図る一方、かたくななまでに、徹底した省力化と効率化を図る一方、かたくななまでに、おいしく、ヘルシーな味を追及する姿勢を貫いています。“モノづくり”への深い愛着と、あくなき探究。これが又ギヨの基本姿勢です。

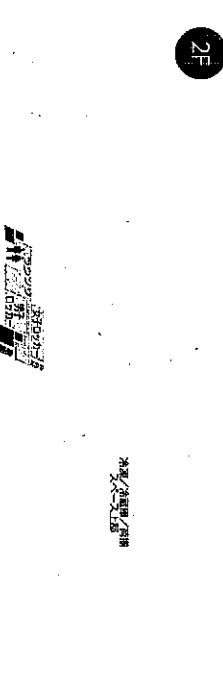
4F



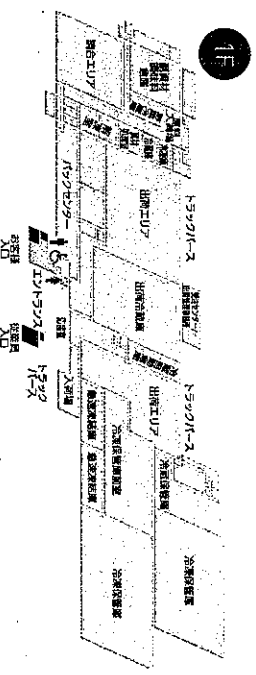
3F



2F



1F



ヘルシー&ハッピー  
株式会社又ギヨ 北陸工場  
〒926-0835 石川県七尾市西三階町10号4-1  
SUGIYO CO., LTD.

- 上郷大津ICより 車で約15分
- 徳田大津ICより 車で約20分
- 七尾駅より 車で約15分
- 和倉温泉駅より 車で約25分
- 富山・小浜空港より 車で約1時間30分
- 能登空港より 車で約1時間
- 金沢より 車で約1時間10分
- 七尾城山ICより 車で約20分